

みらいの学校づくりに関するアンケート調査結果(保護者・市民)

1 調査の目的

保護者や市民の考え方・意識を把握し、「上山市みらいの学校構想」策定に関する方向性等の検討等、検討委員会での議論を充実させるため、アンケート調査を実施するもの

2 調査概要

(1) 調査期間：2月1日(土)～2月28日(金)

(2) 調査対象：下記児童生徒の保護者、市民

・人数は令和6年12月末時点。

・複数のお子さんがある場合は一番下の子の内容で1回のみ回答

(3) 回答方法：調査票または市報2月号に記載の二次元コードを読み取り、インターネット上で回答

| 区分 | | 全人数 A | 対象数 B 一番下の子 | 回答数 C | 回答率 (C/B) |
|-----------------------------|------------------------|---------|----------------|-------|--------------|
| 未就学 | 市内・市外の 保育園・認定こども園 等 | 813 人 | 634 人 | 258 人 | 40.7% |
| | 施設を利用していない未就学児 | | | | |
| 就学 | 市内小学校 | 1,023 人 | 572 人 | 197 人 | 34.4% |
| | 市内中学校 | 568 人 | 293 人 | 66 人 | 22.5% |
| 児童生徒合計 | | 2,404 人 | 1,499 人 | 521 人 | 34.8% |
| 市民 (参考値 27,584 人 11,250 世帯) | | — | — | 27 人 | — |

■複数のお子さんがある場合は、一番下の子の内容で1回のみ回答としていることから未就学児の保護者の回答が約過半数となっている。

■市民は回答数が少ないことから全体での傾向把握のみとした。

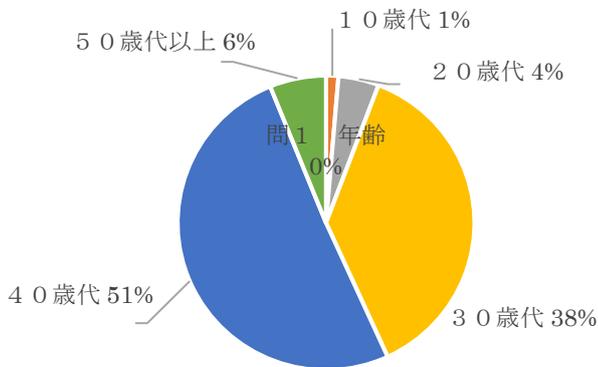
回答が分かれても近似値となることや回答数が少ないため分析が困難なため。

3 調査結果

■基本項目

問1 回答者の年代

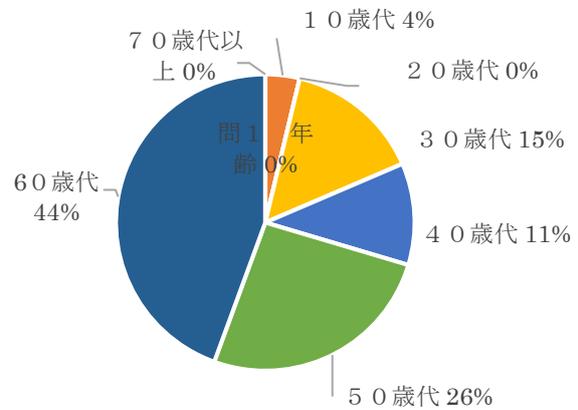
保護者 521名



30～40歳代で約9割を構成

| 問1 年齢 | (人) |
|--------|-----|
| 10歳代 | 7 |
| 20歳代 | 23 |
| 30歳代 | 195 |
| 40歳代 | 264 |
| 50歳代以上 | 32 |
| 計 | 521 |

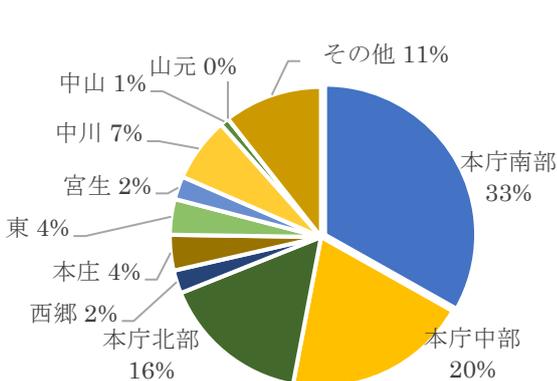
市民 27名



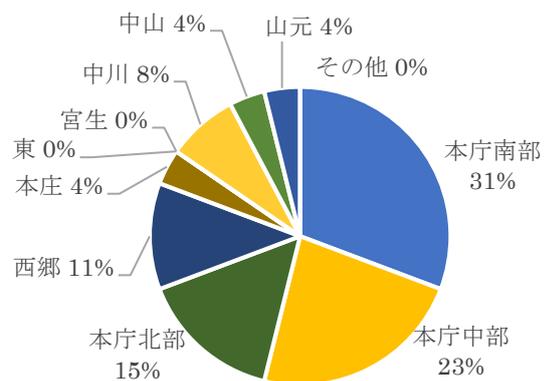
| 問1 年齢 | (人) |
|--------|-----|
| 10歳代 | 1 |
| 20歳代 | 0 |
| 30歳代 | 4 |
| 40歳代 | 3 |
| 50歳代 | 7 |
| 60歳代 | 12 |
| 70歳代以上 | 0 |
| 計 | 27 |

問2 お住いの地区

保護者 521名



市民 27名

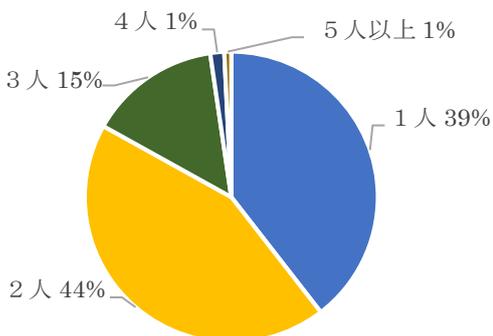


| 問2 地区 | 保護者(人) | 市民(人) |
|-------|--------|-------|
| 本庁南部 | 173 | 8 |
| 本庁中部 | 103 | 7 |
| 本庁北部 | 83 | 4 |
| 西郷 | 13 | 3 |
| 本庄 | 20 | 1 |
| 東 | 20 | 0 |

| 問2 地区 | 保護者(人) | 市民(人) |
|-------|--------|-------|
| 宮生 | 13 | 0 |
| 中川 | 36 | 2 |
| 中山 | 5 | 1 |
| 山元 | 0 | 1 |
| その他 | 55 | 0 |
| 計 | 521 | 27 |

問3 中学生以下の子どもの人数（保護者のみ）

保護者 521名

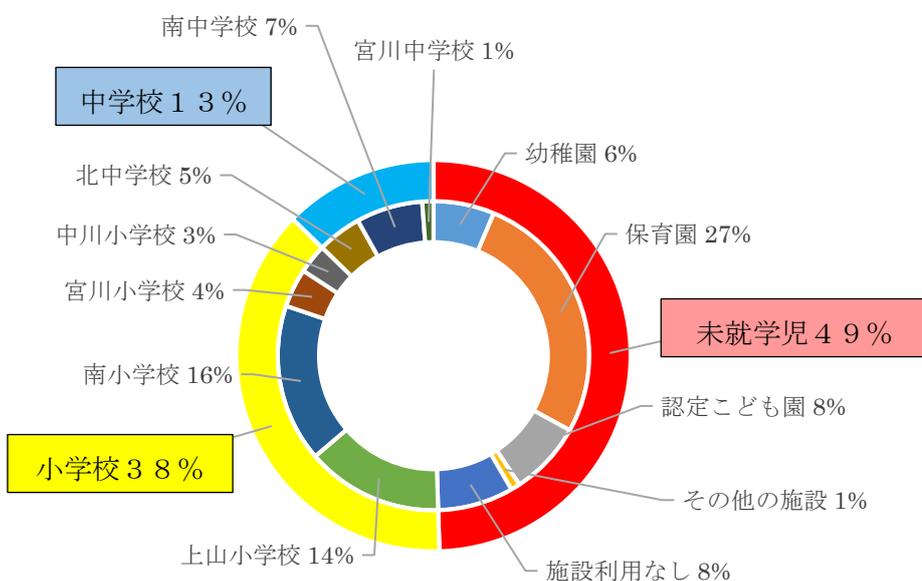


| 問3 子どもの数 | (人) |
|----------|-----|
| 1人 | 206 |
| 2人 | 227 |
| 3人 | 76 |
| 4人 | 8 |
| 5人以上 | 4 |
| 計 | 521 |

世帯における中学生以下の子どもの人数は、2人が最も多いが、次点の1人と21人のみで近似値となっている。

問4 子どもの所属先（保護者のみ）

保護者 521名



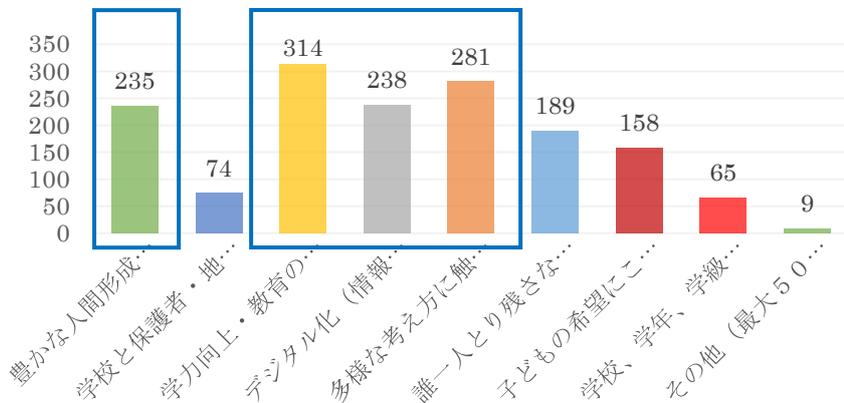
| 問4 所属 | (人) | (人) |
|--------|-----|-----|
| 幼稚園 | 33 | 258 |
| 保育園 | 139 | |
| 認定こども園 | 40 | |
| その他の施設 | 5 | |
| 施設利用なし | 41 | |
| 上山小学校 | 74 | 197 |
| 南小学校 | 86 | |
| 宮川小学校 | 21 | |
| 中川小学校 | 16 | |
| 北中学校 | 24 | 66 |
| 南中学校 | 36 | |
| 宮川中学校 | 6 | |
| 計 | 521 | |

複数のお子さんがある場合は、一番下の子の内容で1回のみ回答としていることから未就学児の保護者の回答が約過半数となっている。

■教育内容（ソフト）

問5 学校教育で大事だと思うもの、魅力ある学校に必要なと思うもの（3つ）

保護者 521名



保護者、市民ともに

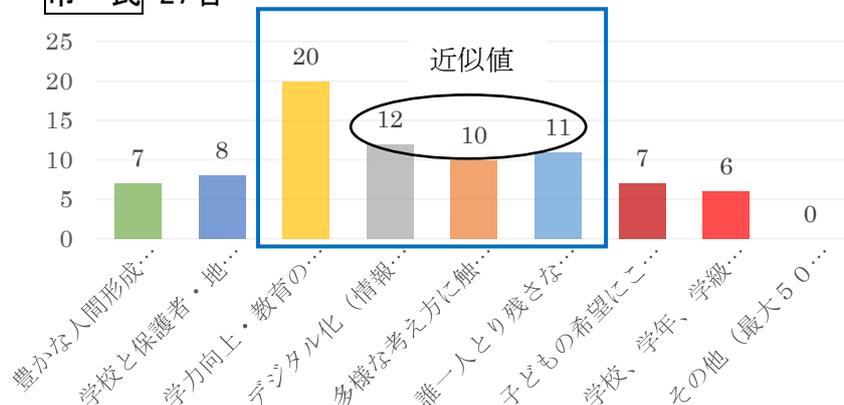
■ 学力向上・教育の質の確保が第1位を占めた。

また、

■ デジタル化 (情報教育)・グローバル化 (英語教育) など時代変化への対応 及び

■ 多様な考え方に触れられる機会や学びあえる機会の提供が上位を占める

市民 27名



保護者は第3位と近似値で、
■ 豊かな人間形成 (郷土愛の育成や多様な交流機会) も上位 (第4位) である。

その他の内容 (抜粋)

経営学・政治の理解、金融教育の推進 等

■ 豊かな人間形成 (郷土愛の育成や多様な交流機会)

■ 学校と保護者・地域社会が連携した教育活動 (市民参加、独自性のある教育)

■ 学力向上・教育の質の確保 (個に応じた能力を伸ばす教育、中学校教科担任の確保)

■ デジタル化 (情報教育)・グローバル化 (英語教育) など時代変化への対応

■ 多様な考え方に触れられる機会や学びあえる機会の提供

■ 誰一人とり残さない教育 (多様性、いじめ、障がい、不登校などへの対応)

■ 子どもの希望にこたえられる選択肢のある集団活動・部活動

■ 学校、学年、学級の数・規模といった教育環境が築く人間関係

■ その他 (最大50文字)

第2回検討委員会 資料2①別紙集計 検討委員会 重要集計項目との比較

第1位 学力向上・学習環境

▶保護者と同じ1位

第2位 豊かな人間形成

▶保護者と同じく上位 (4位)

ポイント

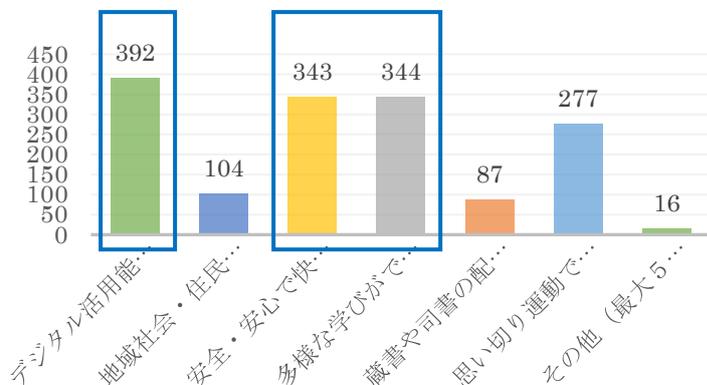
平成20年3月策定「上山市立小・中学校将来構想」でも、魅力ある学校とは「学力の向上」と「人間形成」を確実に達成できる学校としており、この2点は普遍的な考えである。

一方で、時代の変化に伴い、「デジタル化」、「グローバル化」、「多様な考え方に触れられる・学びあえる機会の提供」などの要素が新たに現れてきている。

■学校施設・設備（ハード）

問6 時代に対応した教育環境の整備に必要なと思うもの（3つ）

保護者 521名



保護者・市民ともに

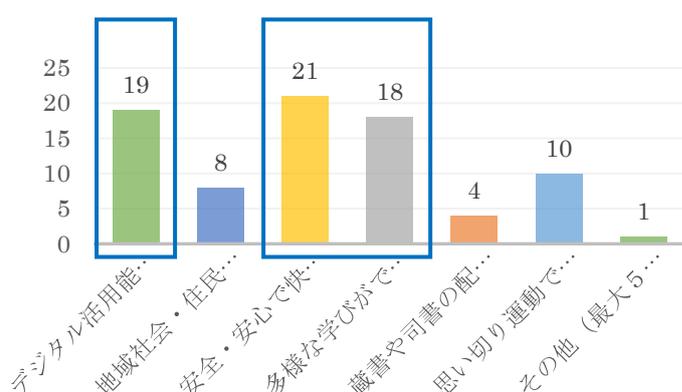
下記3点が上位を占める。

■ デジタル活用能力を育成できる充実したコンピュータ等の ICT・情報教育環境

■ 安全・安心で快適な学習環境（老朽化対策、バリアフリー化、再生可能・省エネルギー化等）

■ 多様な学びができる設備環境（個別・グループ活動ができるスペースの確保等）

市民 27名



また、保護者で特徴なのは、

■ デジタル活用能力の項目が1位を占めたこと。

■ 市民の上位3つは近似値

■ デジタル活用能力を育成できる充実したコンピュータ等のICT・情報教育環境

■ 地域社会・住民と連携できる共創空間の併設

■ 安全・安心で快適な学習環境（老朽化対策、バリアフリー化、再生可能・省エネルギー化等）

■ 多様な学びができる設備環境（個別・グループ活動ができるスペースの確保等）

■ 蔵書や司書の配置などの充実した図書環境

■ 思い切り運動できる体育館やグラウンド

■ その他（最大50文字）

その他の内容（抜粋）

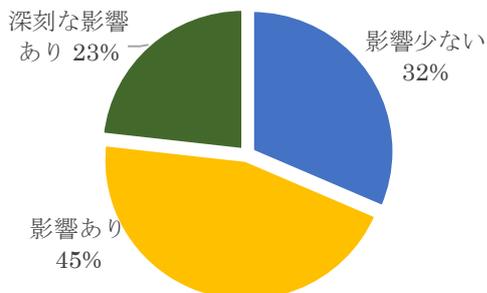
- ・夏は涼しく、冬は暖かく学習環境の整った新しい校舎
- ・夏や冬でも運動出来る施設
- ・一人になれる空間、きれいで広いトイレや休憩室
- ・トイレなど生活する上で最低限の安心、安全、清潔、古い建物の立て直し
- ・市民にも開放可能な運動施設
- ・人工芝のグラウンド
- ・学びが深められる環境。探究心を育てられる環境 等

■人口減少・少子化の影響の認識

問7 学校で、学級数及び1学級の児童生徒数が減少していることへの影響や課題

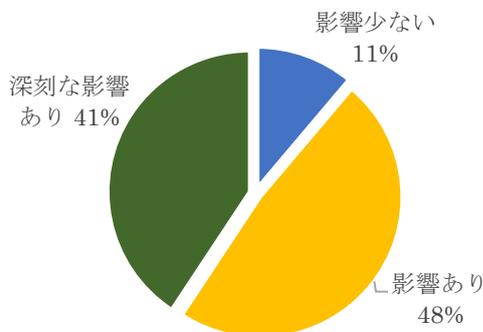
【現在】

保護者 521名



保護者 約7割が影響があると回答

市民 27名



市民 約9割が影響があると回答

| 問7 (現在) | (人) |
|---------|-----|
| 影響少ない | 164 |
| 影響あり | 236 |
| 深刻な影響あり | 121 |
| 計 | 521 |

| 問7 (現在) | (人) |
|---------|-----|
| 影響少ない | 3 |
| 影響あり | 13 |
| 深刻な影響あり | 11 |
| 計 | 27 |

■保護者の区分別回答集計 ※回答数が多いほど濃い色で表示

| 問7 (現在) | 未就学児 | | | | 小学校 | | | | 中学校 | | | |
|---------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | % | 南小学区 | 上山小学区 | 宮川小学区 | 中川小学区 | 南小 | 上山小 | 宮川小 | 中川小 | 南中 | 北中 | 宮川中 |
| 影響少ない | | 25.8 | 23.8 | 28.6 | 0.0 | 43.0 | 39.2 | 28.6 | 18.8 | 38.9 | 29.2 | 66.7 |
| 影響あり | | 53.6 | 42.6 | 38.1 | 54.5 | 46.5 | 43.2 | 33.3 | 50.0 | 38.9 | 50.0 | 33.3 |
| 深刻な影響あり | | 20.6 | 33.7 | 33.3 | 45.5 | 10.5 | 17.6 | 38.1 | 31.3 | 22.2 | 20.8 | 0.0 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

| | 全体 | | |
|---------|--------|-------|-------|
| | 未就学児全体 | 小学校全体 | 中学校全体 |
| 影響少ない | 24.8 | 38.1 | 37.9 |
| 影響あり | 46.9 | 44.2 | 42.4 |
| 深刻な影響あり | 28.3 | 17.8 | 19.7 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

【全体】「影響あり」が最も多い

【未就学児】次点では、「深刻な影響あり」との回答が多い。

【小学校】宮川小は「深刻な影響あり」が最も多く、中川小は次点で「深刻な影響あり」との回答も多い。

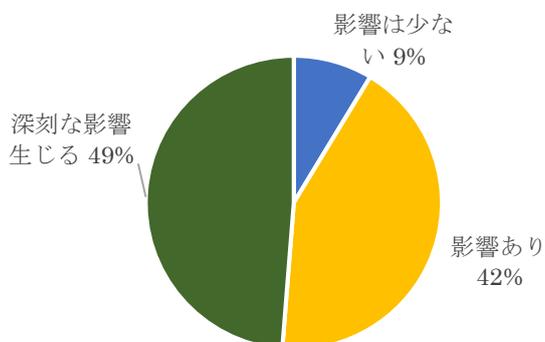
【中学校】宮川中は「影響が少ない」が最も多く、他2校も次点は影響が少ないとの回答

■人口減少・少子化の影響の認識

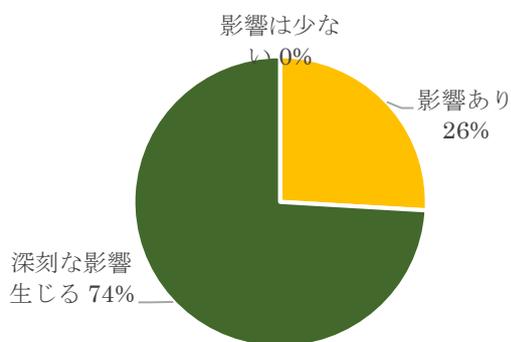
問7 学校で、学級数及び1学級の児童生徒数が減少していることへの影響や課題

【将来10～15年後】

保護者 521名



市民 27名



保護者 約9割が影響があると回答

市民 全員が影響があると回答

【現在 P6比較】 将来10～15年後は、大半が影響があると回答

| 問7 (将来) 10～15年後 | (人) |
|-----------------|-----|
| 影響は少ない | 45 |
| 影響あり | 222 |
| 深刻な影響生じる | 254 |
| 計 | 521 |

| 問7 (将来) 10～15年後 | (人) |
|-----------------|-----|
| 影響は少ない | 0 |
| 影響あり | 7 |
| 深刻な影響生じる | 20 |
| 計 | 27 |

■保護者の区分別回答集計 ※回答数が多いほど濃い色で表示

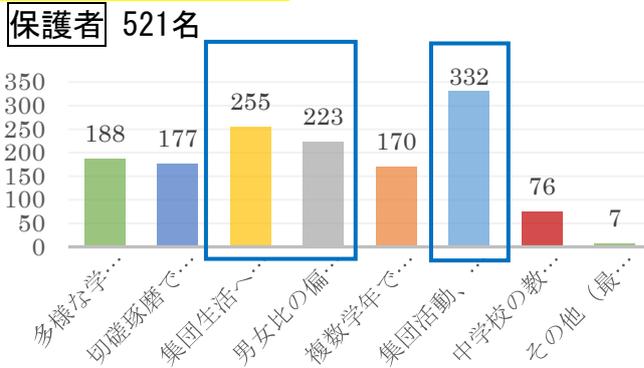
| 問7 (将来) 10～15年後 | 未就学児 | | | | 小学校 | | | | 中学校 | | |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | % | 南小学区 | 上山小学区 | 宮川小学区 | 中川小学区 | 南小 | 上山小 | 宮川小 | 中川小 | 南中 | 北中 |
| 影響は少ない | 6.2 | 5.9 | 4.8 | 0.0 | 10.5 | 10.8 | 9.5 | 6.3 | 11.1 | 16.7 | 33.3 |
| 影響あり | 46.4 | 40.6 | 33.3 | 27.3 | 44.2 | 50.0 | 28.6 | 43.8 | 44.4 | 29.2 | 33.3 |
| 深刻な影響生じる | 47.4 | 53.5 | 61.9 | 72.7 | 45.3 | 39.2 | 61.9 | 50.0 | 44.4 | 54.2 | 33.3 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

| | 全体 | | |
|----------|--------|-------|-------|
| | 未就学児全体 | 小学校全体 | 中学校全体 |
| 影響は少ない | 5.8 | 10.2 | 15.2 |
| 影響あり | 42.2 | 44.7 | 37.9 |
| 深刻な影響生じる | 51.9 | 45.2 | 47.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

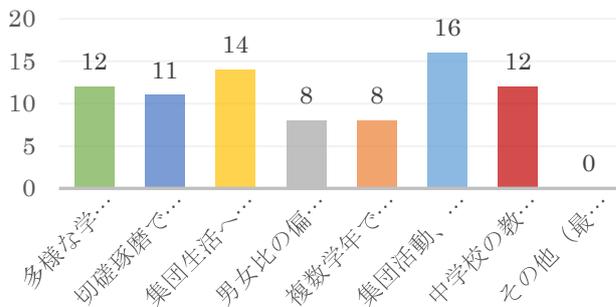
- 【全体】「深刻な影響あり」が最も多い。
- 【未就学児】「深刻な影響あり」が最も多い。
- 【小学校】上山小学校を除き、「深刻な影響あり」が最も多い。
- 【中学校】「深刻な影響あり」が多い。
 - ・南中学校は次点と同率
 - ・宮川中学校は均等な割合で分布

問8 問7で、【現在】【将来】に関わらず「影響があり～」「深刻な影響が生じ～」を選択した方にお聞きします。【対応すべき課題】と【課題解決策】について、あなたの考えに近いものを3つずつ選んで下さい。

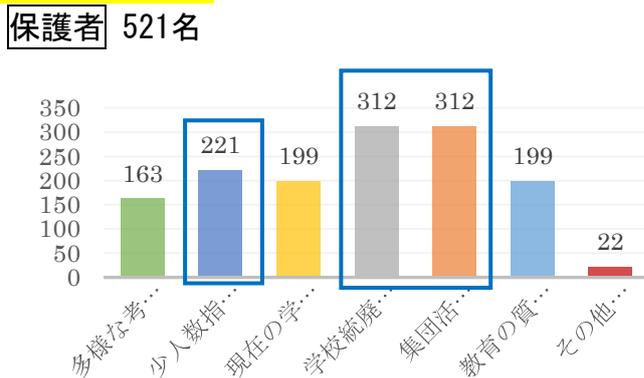
【対応すべき課題】



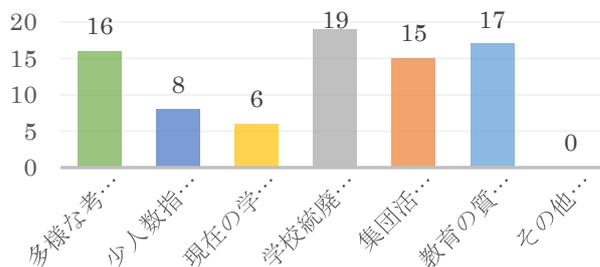
市民 27名



【課題解決策】



市民 27名



【対応すべき課題】（3つ選択）

- 多様な学び、考え方の広がりが増える。
- 切磋琢磨できる環境を整えるのが難しくなる。
- 集団生活への適応が難しくなり、コミュニケーション能力が育ちにくい。
- 男女比の偏り・クラス替えができないことにより人間関係が固定化される。
- 複数学年で編制する複式学級の発生・増加により、教職員の負担が大きくなることで、教育の質の確保が難しくなる。
- 集団活動、部活動、行事の選択肢が限られ、教育効果の低下が懸念される。
- 中学校の教科担任確保（免許外指導の発生）が難しくなる。
- その他（最大100文字）

対応すべき課題の上位は以下の3点

最も多いのが

- 集団活動、部活動、行事の選択肢が限られ、教育効果の低下が懸念される。

次点では

- 集団生活への適応が難しくなり、コミュニケーション能力が育ちにくい。
- 男女比の偏り・クラス替えができないことにより人間関係が固定化される。

※市民も同じ傾向だが近似値

【課題解決策】（3つ選択）

- 多様な考えに触れるため、教育活動に対し保護者や地域住民の協力を得る。
- 少人数指導の充実のため、オンライン等のICTを活用した学習を進める。
- 現在の学校を維持したうえで、他の学校との合同学習や交流を進める。
- 学校統廃合を見据えながら、他の学校との合同学習や交流を進める。
- 集団活動、部活動、行事等で可能なものは、他の学校と合同で行う。
- 教育の質を確保するため、早急に学校を統合し、一定の学級数、児童生徒数を維持することで、複式学級解消や中学校の専門の教科担任を配置する。
- その他（最大100文字）

課題解決策として、同数で最も多かったのは以下の2点

- 学校統廃合を見据えながら、他の学校との合同学習や交流を進める。
- 集団活動、部活動、行事等で可能なものは、他の学校と合同で行う。

次点では

- 少人数指導の充実のため、オンライン等のICTを活用した学習を進める。

※市民も同じ傾向だが近似値

問8 学校で、学級数及び1学級の児童生徒数が減少していることへの影響や課題

【対応すべき課題】その他の記載内容（抜粋・原文のまま）

- ・ 地区やPTA等の役職が世帯数に見合っておらず、保護者の負担がとて大きい。
- ・ 子育て世代が今よりも定住してくれなくなる。
- ・ 活気がなくなる。
- ・ 同じ地区に同級生すらいない。
- ・ 休みの時のプリント等のやり取りや、登下校が1人になる恐れ。
- ・ 現在の学校数で設備の老朽化等に対応するのは無駄があり、統合した上で設備の対応をした方が良い。
- ・ そもそも子育てしにくい。大学まで無償化、高校も給食無償化とかにしないと親に負担が大きすぎる。小さいうちはそんなにお金がかからないが中学あたりから本当にお金がかかる。
- ・ クラス替えができないなど人間関係の固定化に必要以上に不安になる考えを改めること。
- ・ 少人数の良さを活かしていけるようにすること。

問8 【課題解決策】その他の記載内容（抜粋・原文のまま）

統廃合

- ・ 早急に学校統合をお願いしたいです。（他2件）
- ・ 中川小学校は早急に上山小学校と統合すべき。
- ・ 子どもの教育、市の財政負担、教職員の確保の観点から早期に統廃合を計画していくべきです。
- ・ 設備の安全保障、快適な学習環境の確保のため、早急に学校を統合し、設備の見直しをする。
- ・ 現在の学校を維持したままや、統廃合を見据えて、などと中途半端なことをしてもダメだと思います
- ・ 学校統廃合はあまり得策ではないと思う、バスで送迎ではなく、子供が歩いていける範囲に自分達の学校があるという事に多少なりと意味があるのではないかと。

ICT・施設整備

- ・ 学校のネットワークスピードの問題を解決して欲しい。
- ・ 修繕したり様々な機器を導入したりすることは必要なことかと思いますが、どんな方も気持ちよく使えるようにすべき。避難所になることも考えるとトイレなどバリアフリーも必要になるかと。

子育て支援

- ・ 子育て世代が、流出しない、帰ってきたくなる、子供を産んでみたいと思わせてくれる様な政策が必要
- ・ 他地域から家族事の転出を促す。魅力ある街づくり。
- ・ 経済的支援が必要だと思う。
- ・ 保護者や地域住民の過剰な干渉ではなく、同年代・他地域との交流が大事になるのではないかと
- ・ 山形市と合併。人口が増えるような動きを取り若い世代が暮らせる雇用や住宅を誘致し児童数確保する。
- ・ 国や県や市が少子化対策に本腰を入れるべき。教育問題だけでなく国益にも影響が出る

その他

- ・ 市内の越境通学を許可し、子どもの特性に合わせて学校を選べるようにする
- ・ 生徒数も教員数も減るので一学級を15人程度に減らせば良い

■適正規模

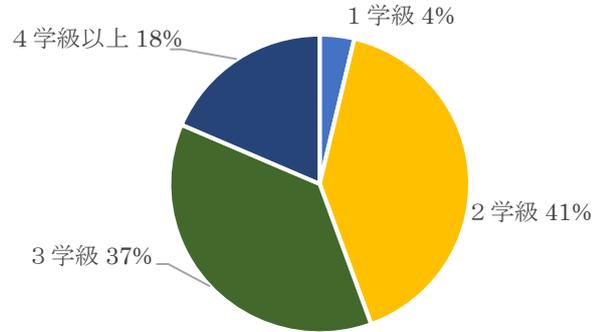
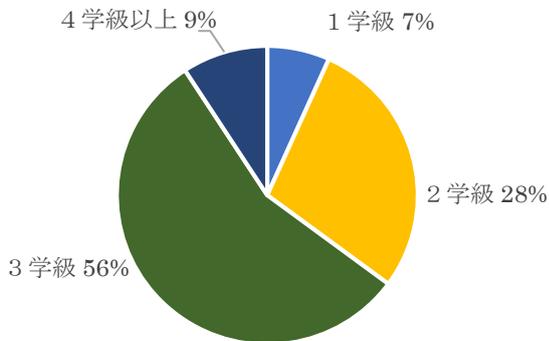
◆ 1つの学年における学級数はどの程度が望ましいか。

問9 **小学校** 1つの学年における望ましい学級数

全体

保護者 521名

市民 27名



保護者 **市民** ともに2学級以上が9割以上を占める。(1学級は1割未満)
保護者 3学級が過半数を占める。

| 学級数 | (人) |
|-------|-----|
| 1学級 | 35 |
| 2学級 | 148 |
| 3学級 | 290 |
| 4学級以上 | 48 |
| 計 | 521 |

| 学級数 | (人) |
|-------|-----|
| 1学級 | 1 |
| 2学級 | 11 |
| 3学級 | 10 |
| 4学級以上 | 5 |
| 計 | 27 |

■保護者の区分別回答集計 ※回答数が多いほど濃い色で表示

| 問9小学校単学年の学級数 | 未就学児 | | | | 小学校 | | | | 中学校 | | | |
|--------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | % | 南小学区 | 上山小学区 | 宮川小学区 | 中川小学区 | 南小 | 上山小 | 宮川小 | 中川小 | 南中 | 北中 | 宮川中 |
| 1学級 | | 1.0 | 4.0 | 19.0 | 36.4 | 1.2 | 4.1 | 42.9 | 31.3 | 2.8 | 4.2 | 16.7 |
| 2学級 | | 23.7 | 27.7 | 28.6 | 45.5 | 18.6 | 43.2 | 23.8 | 31.3 | 19.4 | 41.7 | 50.0 |
| 3学級 | | 67.0 | 59.4 | 38.1 | 18.2 | 68.6 | 47.3 | 33.3 | 18.8 | 61.1 | 45.8 | 33.3 |
| 4学級以上 | | 8.2 | 8.9 | 14.3 | 0.0 | 11.6 | 5.4 | 0.0 | 18.8 | 16.7 | 8.3 | 0.0 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

| | 全体 | | |
|-------|--------|-------|-------|
| | 未就学児全体 | 小学校全体 | 中学校全体 |
| 1学級 | 5.4 | 9.1 | 4.5 |
| 2学級 | 27.1 | 29.4 | 30.3 |
| 3学級 | 58.5 | 52.8 | 53.0 |
| 4学級以上 | 8.9 | 8.6 | 12.1 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

【全体】 3学級が最も多い。

【未就学児】 中川小学区は2学級が最も多い。

【小学校】 宮川小学校は1学級
中川小学校は1・2学級が同数。

【中学校】 宮川中学校は2学級が最も多い。

問9 **小学校** 1つの学年における望ましい学級数の理由（抜粋・要約）

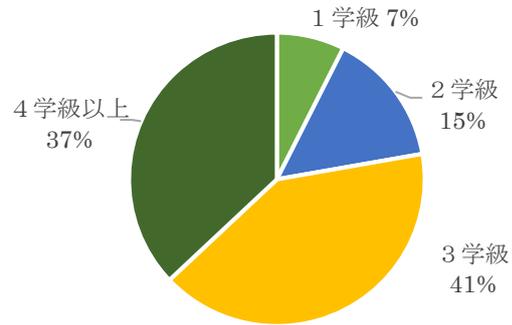
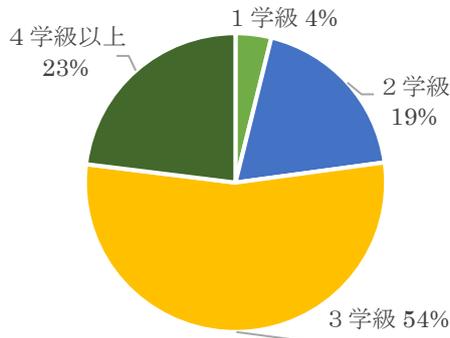
| | |
|----------------------------------|--|
| <p>1 学 級</p> | <p><少人数ならではのきめ細やかさ></p> <p>① 先生が生徒を見守り、全員に目が届く人数であることが重要。 ② 少人数の学校でも、教育の質が良ければ問題ない。しっかりと学習能力の定着が図れれば良い。 ③ 少人数だと団結力が身に付き、子ども同士で話し合いや解決ができる。 ④ 教師の目が行き届き、学年関係なく仲が良い環境が魅力的。</p> <p><複式学級のデメリット・改善提案></p> <p>① 複式学級より1学級の方が学習が身につく。少人数学校は1学級・1先生のメリットを活かすべき。 ② 小学1年生や6年生には複式学級よりも細やかな目配りが必要で1学級は必要。 ③ 人数が少なくても教育の質が高ければ良いが、極端に少ない1クラス10人未満の場合は統合を検討すべき。 ④ 中川小学校は、児童数の減少から、複式学級・1学級が現実的だが、理想は2、3学級であって欲しい。</p> |
| <p>2 学 級</p> | <p><人間関係の多様化と固定化の回避></p> <p>① クラス替えができることで、人間関係の固定化を避け、さまざまな価値観に触れられる。 ② 最低2学級あればクラス替えが可能で、人間関係のリセットやトラブル時の対応ができる。 ③ クラス替えが可能になると新しい友達ができ、新しい環境に慣れる機会が増える。 ④ クラス替えがないと、同じメンバーでの学校生活が続き、人間関係の悩みが固定化される。</p> <p><学級運営と学校活動の充実></p> <p>① 2学級以上でのクラス替えは、学校行事やクラブ活動の充実に寄与し、適度な競争が生まれる。 ② 複数のクラスがあることで、学校行事（運動会・たてわり班活動など）が成り立ちやすくなる。 ③ クラス替えの頻度が増すことで、児童の学校生活の質が向上し、友人関係の幅が広がる。 ④ 行事や活動で共同作業の機会が増え、子供たちの社会性が育まれる。</p> <p><学級数の理想と現実></p> <p>① 現在の規模から考えると2学級が現実的であり、それ以上の学級数は困難。 ② 理想は3学級あるいは4学級だが、現状の少子化を考慮すると2学級が妥当。</p> |
| <p>3 学 級</p> | <p><人間関係とコミュニケーションの多様化></p> <p>① クラス替えを通じて多様な人間関係を学び、新たな友達と交流することができる。 ② 同じ児童との固定された関係を避けるため、クラス替えが望ましい。 ③ クラス替えにより、いじめやトラブル時の再スタートがしやすくなる。 ④ クラス替えがあることで、児童同士のコミュニケーション能力が向上する。 ⑤ トラブルがあった際に、逃げ場としてのクラス替えが必要。</p> <p><切磋琢磨と刺激の提供></p> <p>① クラス替えがあることで切磋琢磨の精神を養い、競争意識が生まれ、児童の成長に繋がる。 ② クラス替えにより、適度な刺激が提供され、学習意欲が高まる。 ③ クラスマッチなど、クラス替えによる競争が児童の団結力を高める。</p> <p><多すぎず少なすぎずのバランス></p> <p>① 1学級だけでは人間関係の固定化が懸念され、2学級ではクラス替えでも半数しか入れ替わらない。3学級以上あると、適度な人数で、集団生活の中での人間関係構築がしやすい。</p> |
| <p>4 学 級 以 上</p> | <p><多様な人と関わる機会></p> <p>① クラス数が多い方が、様々な感性や価値観に触れることができる。 ② 多様な人との交流を通じて、社会性や協調性、コミュニケーション能力を育む。 ③ クラス替えを通じて、いじめやトラブルが発生した場合でも環境を変え再スタートがしやすい。</p> <p><集団行動とイベントの充実></p> <p>① クラスマッチや運動会などの学校行事を通じて集団行動を学べる。 ② 行事（運動会や文化祭など）の盛り上がりクラス数が多いことで高まる。 ③ 様々なクラスメイトと触れ合うことで、集団活動の適応力が養われる。</p> <p><教育環境と教員の負担軽減></p> <p>① 教員が多く配置され、負担が軽減することで、教育・指導の質が高まる。 ② いろんな大人と接する機会が増え、社会的な対応力が養われる。</p> |

問10 **中学校** 1つの学年における望ましい学級数

全体

保護者 521名

市民 27名



保護者 **市民** ともに2学級以上が9割以上を占める。(1学級は1割未満)

【小学校 P10比較】中学校は3学級・4学級(多くの学級数)を望む割合が増加

| | |
|-------|-----|
| 1学級 | 20 |
| 2学級 | 99 |
| 3学級 | 282 |
| 4学級以上 | 120 |
| 計 | 521 |

| | |
|-------|----|
| 1学級 | 2 |
| 2学級 | 4 |
| 3学級 | 11 |
| 4学級以上 | 10 |
| 計 | 27 |

■保護者の区分別回答集計 ※回答数が多いほど濃い色で表示

| 問10中学校単学年の学級数 | 未就学児 | | | | 小学校 | | | | 中学校 | | | |
|---------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | % | 南小学区 | 上山小学区 | 宮川小学区 | 中川小学区 | 南小 | 上山小 | 宮川小 | 中川小 | 南中 | 北中 | 宮川中 |
| 1学級 | | 1.0 | 2.0 | 19.0 | 9.1 | 1.2 | 2.7 | 28.6 | 6.3 | 0.0 | 0.0 | 16.7 |
| 2学級 | | 17.5 | 18.8 | 23.8 | 36.4 | 15.1 | 17.6 | 38.1 | 12.5 | 16.7 | 12.5 | 50.0 |
| 3学級 | | 49.5 | 54.5 | 33.3 | 54.5 | 60.5 | 63.5 | 28.6 | 37.5 | 61.1 | 79.2 | 33.3 |
| 4学級以上 | | 32.0 | 24.8 | 23.8 | 0.0 | 23.3 | 16.2 | 4.8 | 43.8 | 22.2 | 8.3 | 0.0 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

| | 全体 | | |
|-------|--------|-------|-------|
| | 未就学児全体 | 小学校全体 | 中学校全体 |
| 1学級 | 3.5 | 5.1 | 1.5 |
| 2学級 | 19.8 | 18.3 | 18.2 |
| 3学級 | 49.6 | 56.3 | 65.2 |
| 4学級以上 | 27.1 | 20.3 | 15.2 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

【全体】3学級が最も多く、次点で4学級を望む割合も多くなる。

【未就学児】3学級が最も多い。

【小学校】宮川小学校は2学級、中川小学校は4学級が多い。

【中学校】宮川中学校は2学級が最も多い。

問10 **中学校** 1つの学年における望ましい学級数の理由（抜粋・要約）

| | |
|----------------------------------|---|
| <p>1 学 級</p> | <p><先生の目が届きやすい> ① 少人数の方が先生が生徒一人ひとりに目をかけやすい。 ② 少人数学級だときめ細かく教えられる環境が整う。 ③ 生徒一人ひとりに丁寧に向き合うことができる。</p> <p><アットホームな環境の維持（現行維持）> ① 少人数のためアットホームな環境で勉強や生活が送れている。 ② 親しい雰囲気の中で、勉強や生活の質が高い。 ③ 現在の少人数学級の状況が希望されている。</p> |
| <p>2 学 級</p> | <p><多様な人間関係の構築> ① クラス替えがあることで、多様な人間関係を築ける。 ② 様々なお友達との関わりを持てるため、クラス替えは必要。 ③ 新しいクラスメイトとの出会いで、新しいことに挑戦する機会となる。</p> <p><中学生の特性への配慮 問題解決と人間関係の管理> ① 思春期による人間関係の悪化、固定化を防ぎ適切な学級運営を行うため、クラス替えは必要。 ② 中学生は難しい年頃なので、いじめ等トラブル抑制のため、クラス替えができる環境が必要。 ③ 高校や大学、社会で多種多様な人と接するための準備として、クラス替えは必要。 ④ 1学級では様々な問題が解決しにくいいため、複数学級が望ましい。</p> <p><競争と切磋琢磨> ① 適度な競争が生まれ、学力や運動面の向上につながる。 ② クラス替えによって切磋琢磨し合える関係が築ける。</p> <p><最低必要な学級数> ① 学校行事（運動会、合唱コンクール等）を考えると最低2クラスは必要。 ② クラス替えの選択肢を持つために必要な最低学級数。</p> |
| <p>3 学 級</p> | <p><心理的な成長とトラブル対策、多様な人間関係の構築> <競争と切磋琢磨> 人間関係の固定化を防ぎ、多様性を持たせるために3学級以上が必要。 他は2学級と同じ理由</p> <p><教員の質と専門性> ① 専門教科の先生が配置されるためには、最低でも3学級が必要。 ② 教員の免許外指導の負担を減らし、専門教科を担当できる環境が重要。</p> <p><部活動と行事の充実> ① 中学校では部活動が重要なため、最低でも3学級が必要。 ② 部活動や学校行事（合唱コンクール、運動会等）では、3学級以上での運営が望ましい。 ③ 部活動と授業を通じて、競争力と団結力が養われる。</p> <p><将来を見据えた進学と社会適応力> ① 高校受験を考えると、学校規模が適正で多くの人と関わり、社会性や協調性が学べる事が大事。 ② 学力向上や進学に向けて適切な環境を提供するため、3学級以上が好ましい。</p> |
| <p>4 学 級 以 上</p> | <p><心理的な成長とトラブル対策、多様な人間関係の構築> <競争と切磋琢磨> <教員の質と専門性> <部活動と行事の充実> <将来を見据えた進学と社会適応力> 3学級と同じ理由</p> <p><将来を見据えた教育活動等の充実> ① 高校生活を見据えた教育活動を充実させるため、適正なクラスサイズが必要。 ② 小学校よりクラスの規模を拡大し、高校進学を見据えた学びの環境を整えることが必要。 ③ 適正なクラスサイズの維持が重要で、全体的に、クラス数と生徒数をバランスよく管理し、教育の質と生徒の成長を最大化するための環境作りが必要。 ④ 将来、大人になったときの交流の幅を広げるため、中学時代は、できる限り多くの仲間と勉強や部活動などを一緒に体験して欲しい。</p> |

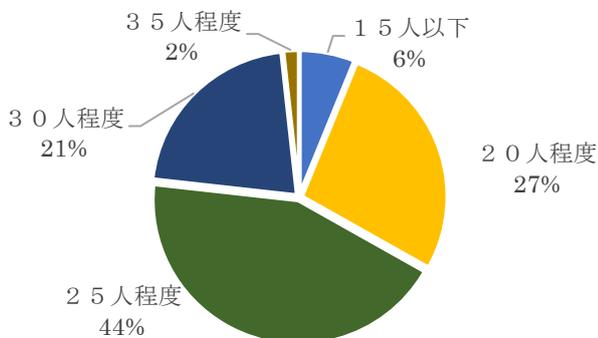
■適正規模

◆ 1学級あたりの児童生徒の人数はどの程度が望ましいか。

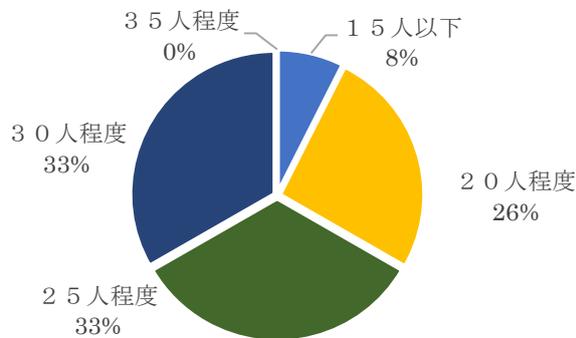
問11 **小学校** 1学級当たりの望ましい児童数

全体

保護者 521名



市民 27名



保護者 市民 ともに20人程度以上が9割以上を占める。(15人以下は1割未満)

| 程度 | 人数 |
|-------|-----|
| 15人以下 | 32 |
| 20人程度 | 141 |
| 25人程度 | 227 |
| 30人程度 | 112 |
| 35人程度 | 9 |
| 計 | 521 |

| 程度 | 人数 |
|-------|----|
| 15人以下 | 2 |
| 20人程度 | 7 |
| 25人程度 | 9 |
| 30人程度 | 9 |
| 35人程度 | 0 |
| 計 | 27 |

■保護者の区分別回答集計 ※回答数が多いほど濃い色で表示

| 問11 小学校学級の人数 | 未就学児 | | | | 小学校 | | | | 中学校 | | |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | % | 南小学区 | 上山小学区 | 宮川小学区 | 中川小学区 | 南小 | 上山小 | 宮川小 | 中川小 | 南中 | 北中 |
| 15人以下 | 1.0 | 3.0 | 0.0 | 18.2 | 3.5 | 8.1 | 28.6 | 31.3 | 2.8 | 8.3 | 16.7 |
| 20人程度 | 21.6 | 31.7 | 47.6 | 45.5 | 23.3 | 27.0 | 33.3 | 31.3 | 22.2 | 16.7 | 33.3 |
| 25人程度 | 48.5 | 46.5 | 38.1 | 18.2 | 38.4 | 48.6 | 33.3 | 31.3 | 55.6 | 41.7 | 16.7 |
| 30人程度 | 27.8 | 16.8 | 14.3 | 9.1 | 32.6 | 13.5 | 4.8 | 6.3 | 16.7 | 33.3 | 33.3 |
| 35人程度 | 1.0 | 2.0 | 0.0 | 9.1 | 2.3 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 0.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

| | 全体 | | |
|-------|--------|-------|-------|
| | 未就学児全体 | 小学校全体 | 中学校全体 |
| 15人以下 | 3.1 | 10.2 | 6.1 |
| 20人程度 | 29.1 | 26.4 | 21.2 |
| 25人程度 | 44.6 | 41.1 | 47.0 |
| 30人程度 | 21.7 | 20.3 | 24.2 |
| 35人程度 | 1.6 | 2.0 | 1.5 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

【全体】25人程度が最も多く、20人程度以上が9割を占める。

【未就学児】宮川、中川小学区は20人程度が多い。

【小学校】宮川、中川小学校は15人以下、20人程度、25人程度が一定割合で分布。20人程度以上が7割。

【中学校】宮川中学校は20人程度と30人程度が同数。

問 1 1 **小学校** 1 学級当たりの望ましい児童数の理由（抜粋・要約）

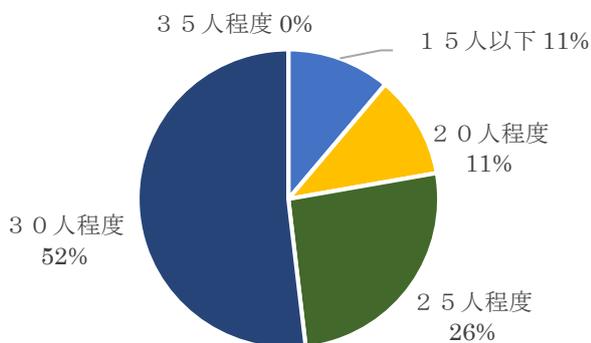
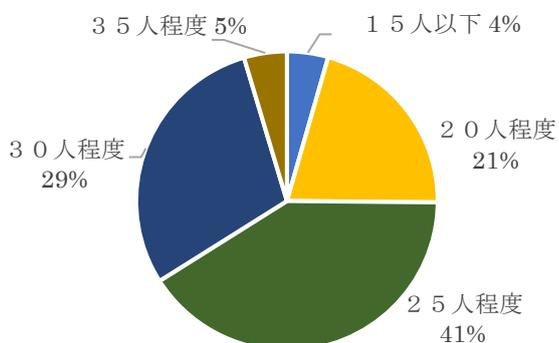
| | |
|-------------------|---|
| 15 人 以 下 | <p><生徒一人ひとりへの目配り></p> <p>① 先生が子ども一人ひとりに目をかける時間が増える。 ② 担任と児童との関わりを増やすため、少人数制が望ましい。 ③ 苦手なことを含め「常に体験できる」機会を多くするため、低学年ほど少人数が望ましい。 ④ 生徒同士の関わりを増やし、クラス全体の雰囲気を良くする。</p> <p><教諭の負担軽減></p> <p>① 教員一人ひとりの目が行き届く対応可能な子どもの人数にすることで、教諭の負担を減らせる。 ② 教諭の負担を軽減することで、手厚い授業を提供して欲しい。 ③ 少人数制にすることで、若い教員の増加や再雇用の教員の負担減少が期待できる。</p> |
| 20 人 程 度 | <p>15人以下の理由に加え</p> <p><適正な人数><教育の質の向上></p> <p>① 先生が対応可能な人数であり、クラス活動や学習環境を考慮して、20人程度が丁度良い。 ② 担任の目が行き届く人数で、安心して学べる環境が提供される。 ③ 20人程度だと児童間の交流が増え、多様性の理解と協調性が育まれる。 ④ 児童が発言しやすい環境が整い、先生との距離が近くなる。</p> <p><体験活動の重要性></p> <p>① 児童が役割を経験する機会が増え、教育効果が高まる。 ② 指導が行き届き、グループ活動や話し合いが円滑に行える。</p> |
| 25 人 程 度 | <p>15人以下・20人程度の理由に加え</p> <p><多様な意見との触れ合い・切磋琢磨できる環境></p> <p>① 児童間でコミュニケーションが取れやすく、多様な意見や価値観に触れられる。 ② 児童同士で切磋琢磨し合うための人数が必要。 ③ クラス活動やグループ学習が円滑に行える人数。</p> <p><クラス活動の充実></p> <p>① 学習面や生活面で適正な人数が、児童の成長に寄与する。 ② クラスで意見交換や行事を行う際に適した人数。</p> |
| 30 人 程 度 | <p>25人程度までの理由に加え（<教諭の負担軽減>は除く）</p> <p><グループ活動と人間関係></p> <p>① クラス内でのグループ形成が容易で、多様な意見や考え方に触れることができる。 ② 友達作りや人間関係の構築に適した人数。 ③ 自由なコミュニケーションと刺激が生まれる環境。</p> <p><社会生活の訓練コミュニケーション能力の育成></p> <p>① 社会に出る前に様々な人と関わる経験を積むため。 ② 集団生活の質を維持し、多様な考え方を学ぶための人数が重要。 ③ 少人数では刺激が足りないため、一定の人数が集まることで学びが深まる。多すぎず、人がいて交流できる雰囲気が重要。</p> |
| 35 人 程 度 | <p>25人程度、30人程度と同じ理由に加え</p> <p><多様な児童との交流の機会></p> <p>① 小学校は情操教育の場であり、多様な児童と交流を持つ機会を与えるべき。 ② 先頭に立ちたい児童も、集団に埋もれたい児童もいるため、多様な環境が求められる。</p> <p><集団活動と競争の重要性></p> <p>① 少人数や個別での学習も大事だが、集団学習や集団での活動をするには人数が多い方が良い。 ② 集団を大きくすることで、競争が生まれ、個々の能力が高まると考えられる。</p> |

問12 **中学校** 1 学級当たりの望ましい生徒数

全体

保護者 521名

市民 27名



保護者 **市民** ともに20人程度以上が約9割（15人以下は約1割）

【小学校 P14比較】 中学校は30程度以上（大きい集団を望む）の割合が増加

| 人数 | (人) |
|-------|-----|
| 15人以下 | 23 |
| 20人程度 | 108 |
| 25人程度 | 213 |
| 30人程度 | 153 |
| 35人程度 | 24 |
| 計 | 521 |

| 人数 | (人) |
|-------|-----|
| 15人以下 | 3 |
| 20人程度 | 3 |
| 25人程度 | 7 |
| 30人程度 | 14 |
| 35人程度 | 0 |
| 計 | 27 |

■保護者の区分別回答集計 ※回答数が多いほど濃い色で表示

| 問12中学校学級の人数 | 未就学児 | | | | 小学校 | | | | 中学校 | | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | % | 南小学区 | 上山小学区 | 宮川小学区 | 中川小学区 | 南小 | 上山小 | 宮川小 | 中川小 | 南中 | 北中 |
| 15人以下 | 1.0 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 3.5 | 6.8 | 14.3 | 12.5 | 2.8 | 8.3 | 16.7 |
| 20人程度 | 15.5 | 17.8 | 38.1 | 45.5 | 24.4 | 18.9 | 38.1 | 18.8 | 13.9 | 12.5 | 16.7 |
| 25人程度 | 45.4 | 47.5 | 33.3 | 27.3 | 37.2 | 43.2 | 28.6 | 56.3 | 50.0 | 29.2 | 50.0 |
| 30人程度 | 35.1 | 28.7 | 19.0 | 18.2 | 29.1 | 27.0 | 19.0 | 12.5 | 30.6 | 41.7 | 0.0 |
| 35人程度 | 3.1 | 3.0 | 9.5 | 9.1 | 5.8 | 4.1 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 8.3 | 16.7 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

| | 全体 | | |
|-------|--------|-------|-------|
| | 未就学児全体 | 小学校全体 | 中学校全体 |
| 15人以下 | 2.3 | 6.6 | 6.1 |
| 20人程度 | 20.5 | 23.4 | 13.6 |
| 25人程度 | 41.1 | 40.1 | 42.4 |
| 30人程度 | 31.4 | 25.9 | 31.8 |
| 35人程度 | 4.7 | 4.1 | 6.1 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

【全体】25人程度が最も多く、20人程度以上が9割を占める。

【未就学児】宮川、中川小学区は20人程度が多い。

【小学校】宮川小学校は20人程度が多く、中川小学校は25人が多い。

【中学校】北中学校は30人程度が多い。

問 1 2 **中学校** 1 学級当たりの望ましい生徒数の理由（抜粋・要約）

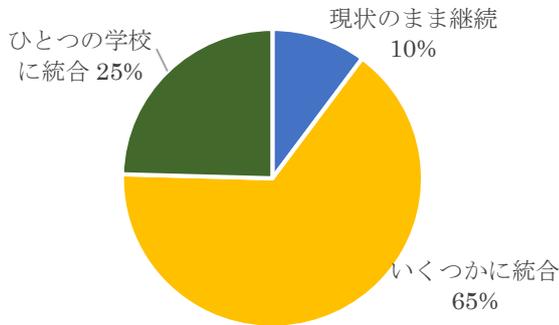
| | |
|-------|--|
| 15人以下 | <p><生徒一人ひとりへの個別対応、></p> <p>① 教諭が生徒一人ひとりに目をかける時間が増え、各生徒が様々な役割を経験することができる経験を積む。</p> <p>② 教諭が生徒一人ひとりの個性を把握し、生徒に深く関われる環境・人数が大事。</p> <p><複雑な年頃への対応></p> <p>① 中学生は、小学生以上に複雑な年頃なので、教員の目が行き届く人数が望ましい。</p> <p><教諭の負担軽減と手厚い指導></p> <p>① 教諭の負担を減らし、手厚い授業ができるためには少人数が望ましい。若い教諭のためにも必要。</p> |
| 20人程度 | <p>15人以下の理由に加え</p> <p><教育の質の向上></p> <p>① 生徒に目が届きやすく、学力向上に繋がる。</p> <p>② 少人数制により、学力のレベルに合わせた個別最適な学習が可能。</p> <p><適正なクラスサイズ></p> <p>① 多すぎず少なすぎない人数が理想。少ないと刺激不足になるが、多すぎると目が行き届かない。</p> <p>② 1学級20名程度の少数多学級編成が理想的だと思う。</p> <p><生徒の環境と将来の準備></p> <p>① 小学校から中学校に上がる際、人数の落差がない方がストレスが少なく良いと思う。</p> <p>② 成長過程の一過程として難しい発達段階では、丁寧な対応ができる環境が重要。</p> <p>③ 高校受験に向けて勉強に集中したい時期に、個別対応しやすい、勉強しやすい少人数が望ましい。</p> <p>④ 全員が学力向上に取り組みやすい環境を作るべき。</p> |
| 25人程度 | <p><適正な人数と教育の効果></p> <p>① 25人前後が多すぎず少なすぎない人数で、学力向上にも寄与すると規模だと思う。</p> <p>② 学力の向上とコミュニケーション力を育成するための適度な人数。</p> <p>③ グループやペアの組み合わせがしやすく、切磋琢磨できると思う。</p> <p><生徒の成長と社会性の育成></p> <p>① 思春期の生徒に対する対応として、教師の目が行き届きやすい人数が重要。</p> <p>② クラス内での役割分担や責任感の養成が行いやすい。</p> <p>③ 生徒間の多様な考え方や意見交換が促進される。</p> <p><進学と将来の準備></p> <p>① 進学に向けた勉強の充実を図るための25人程度の少人数制が理想。</p> <p>② 進路相談や受験指導に時間をかけられる規模だと思う。</p> <p><教師の負担と目配りのしやすさ></p> <p>① 教師の目が行き届きやすく、負担が少ない人数が望ましい。</p> <p>② 30人を超えると教師が生徒一人ひとりに目をかけるのが難しくなるのではないかと。</p> |
| 30人程度 | <p>25人程度の理由に加え</p> <p><教育と生活環境における効果></p> <p>① 教員が一人ひとりの学びや心の状態を把握しやすい人数。</p> <p>② 30人程度で活動することが多いと思う。</p> <p><集団生活の質と社会性の育成></p> <p>① 集団生活の質を維持するため一定の人数が必要で、多くの生徒の中で社会性を学ぶことが重要。</p> <p>② 小学校より多少多い人数で、個々が自立して活動できることが大切。</p> <p><生徒の成長と人間関係の構築></p> <p>① 中学生は多感な時期だからこそ人間関係に変化があり、多くの人と関わるのが重要だと思う。</p> <p>② いろんな人の意見を共有し、刺激を受けることができる人数は必要。</p> |
| 35人程度 | <p>30人程度の理由に加え</p> <p><人数の利点と適正規模></p> <p>① 少人数や個別学習も重要ですが、中学生には、集団学習と集団活動も大事だと思う。</p> <p><成長と社会性の育成、進学先への適応></p> <p>① 集団生活を通じて大人に近い感覚で社会性を身につけ、仲間との交流や切磋琢磨を通じて成長することが重要。多人数での学級は、様々な友達との交流が増え、学校生活が充実すると思う。</p> <p>② 高校に進学した際の環境に近づけるため、中学校でも適正な人数を保つことが重要。これが将来の適応力を養うことに繋がると思う。</p> |

◆小学校の数（統廃合）

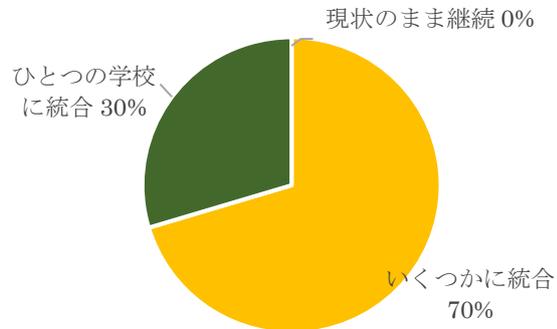
問13 10～15年後を想定した場合、**小学校**はどのようにすることが望ましいか。

全体

保護者 521名



市民 27名



保護者 9割が統合を希望

市民 全員が統合を希望

| | |
|------------|-----|
| 現状のまま継続 | 53 |
| いくつかの学校に統合 | 340 |
| ひとつの学校に統合 | 128 |
| 計 | 521 |

| | |
|------------|----|
| 現状のまま継続 | 0 |
| いくつかの学校に統合 | 19 |
| ひとつの学校に統合 | 8 |
| 計 | 27 |

■保護者の区分別回答集計 ※回答数が多いほど濃い色で表示

| 問13 小学校の今後について | 未就学児 | | | | 小学校 | | | | 中学校 | | |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 南小学区 | 上山小学区 | 宮川小学区 | 中川小学区 | 南小 | 上山小 | 宮川小 | 中川小 | 南中 | 北中 | 宮川中 |
| 現状のまま継続 | 9.3 | 8.9 | 4.8 | 9.1 | 7.0 | 16.2 | 9.5 | 12.5 | 16.7 | 8.3 | 0.0 |
| いくつかの学校に統合 | 68.0 | 71.3 | 61.9 | 63.6 | 74.4 | 62.2 | 57.1 | 43.8 | 58.3 | 41.7 | 50.0 |
| ひとつの学校に統合 | 22.7 | 19.8 | 33.3 | 27.3 | 18.6 | 21.6 | 33.3 | 43.8 | 25.0 | 50.0 | 50.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

| | 全体 | | |
|------------|--------|-------|-------|
| | 未就学児全体 | 小学校全体 | 中学校全体 |
| 現状のまま継続 | 8.9 | 11.2 | 12.1 |
| いくつかの学校に統合 | 68.6 | 65.5 | 51.5 |
| ひとつの学校に統合 | 22.5 | 23.4 | 36.4 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

【全体】いくつかの学校に統合が最も多く次点でひとつに統合が続く。

【未就学児】全体的に統合を望む割合が高い。

【小学校】中川小学校はいくつに統合とひとつに統合が同数

【中学校】北中学校はひとつに統合が最も多く、宮川中学校はひとつに統合といくつか統合が同数

問13 10～15年後を想定した場合、**小学校**の数（統廃合）の理由（抜粋）

| | |
|-------------------|---|
| <p>現状のまま継続</p> | <p><少人数校ならではの利点、経験則> ① 少人数校では、一人ひとりに手厚い教育や人間関係の深まりが期待される。 ② 保護者自身が少人数校に在籍した経験や現在通っている子どもの様子から継続したい。</p> <p><通学距離への懸念> ① 学区が広がることで通学時間が長くなり、徒歩や自転車での通学が困難になるのは避けたい。 ② 学校が統合すればスクールバスでの登下校が必要になる。どのくらい負担が増えるか心配。</p> <p><統合の可能性と条件> ① 統合すると学校間でのスポーツ、学力の競争ができなくなるなど様々な面で考慮して欲しい。 ② 統合するとしても、規模の大きい南小学校は老朽化している。設備面で難しいと思う。</p> |
| <p>いくつかの学校に統合</p> | <p><少子化の現状> ① 現状継続を望む声もあると思うが、少子化の現状や子どもの事を考えれば統合は仕方がない。</p> <p><教育の質・設備環境の向上> ① 規模が大きくなり、教育の質や設備環境が向上すると思う。クラス替えできる人数は必要。</p> <p><社会性の育成、多様な人間関係> ① 学校には適度な人数が必要で、集団生活を通してコミュニケーション能力が育まれると思う。 ② 友人は多い方が良く、小規模校での人間関係の固定化は避けたい。</p> <p><複式学級の解消> ① 中川小、宮川小は集団生活が難しく、今後の複式学級の増加は避けられない。 ② 学年別での指導が行いにくく、学力の確保は厳しいと思うので、早急に統合して欲しい。</p> <p><効率化> ① 統合により人件費や施設の維持管理費などの効率化が期待できる。 ② 人口が減少しているなかで、学校運営にもお金がかかるのだから統合せざるおえない。</p> <p><段階的な統合の進め方> ① 1つではなく、2つ（上山小、南小）にした方が、学校間での競争やトラブル時に転校ができるので望ましい。 ② 先ずは上山小、南小の2校に統合するべき。それぞれ2・3クラス以上を確保して、いずれ1クラスしか確保できない状況が見込まれたら1つの学校に統合すれば良い。</p> <p><通学への対策> ① 1校に統合では、通学に係る距離と時間が増える生徒がでると思うので2校に統合が良い。</p> |
| <p>ひとつの学校に統合</p> | <p><教員の確保と教育の質向上> ① 教師の人数を確保し、教員の負担を軽減するためには、一つの学校に統合する方が良い。 ② 複式学級や少ないクラス数の状況を改善するためには、統合するしかない。 ③ 人間関係の固定化を避け、多様な経験を得るためにも一定規模の児童数が必要。 ④ 複式学級や1学年に1・2クラスしかない状況を改善するには統合が必要。</p> <p><児童数確保と社会性育成> ① 人口減少を見込んで統合する事で、多くの友人と触れ合いながら社会性を身につけられる。 ② 大人数での集団教育や活動を通じて、切磋琢磨しながら成長する環境が整う。</p> <p><少人数の学校に対する懸念> ① 少人数の中では人間関係が固定化しやすく、社会性や多様な経験を得る機会が少ない。 ② 多様な友人と交流し、社会に出るためのスキルを身につけるためには、一定の生徒数が必要。</p> <p><負担軽減と効率化・費用削減、老朽化対策> ① 統合の負担（子供・保護者・関係者、心理的・財政的）は繰り返さず、一度で完了して欲しい。 ② 統合を一度にする事で、管理運営費、将来的な建替費用等の市の財政支出を削減できる。</p> <p><将来の見通しと老朽化対策> ① 子供の数が減少し続ける現状を踏まえ、未来の児童数を見越した統合は必要。 ② 老朽化施設を維持し長く使うより、新しく建てた方があらゆる面でパフォーマンスが良い。</p> |

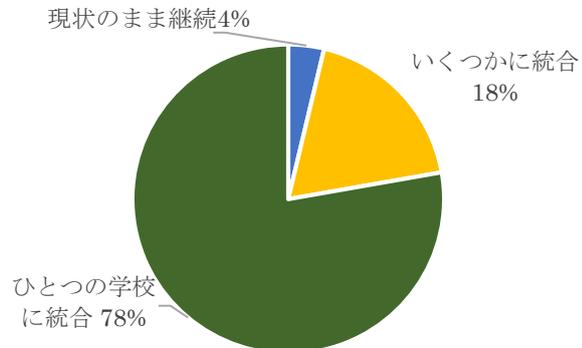
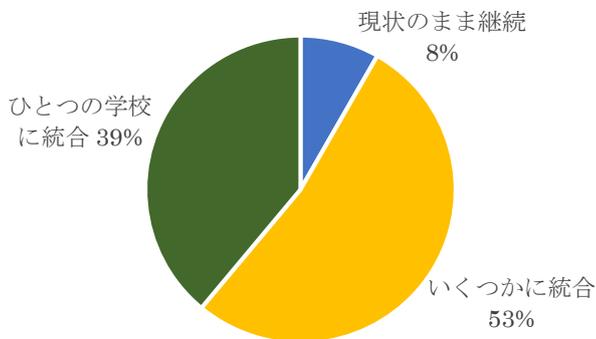
◆中学校の数（統廃合）

問14 10～15年後を想定した場合、**中学校**はどのようにすることが望ましいか。

全体

保護者 521名

市民 27名



保護者 **市民**ともに9割以上が統合を希望。市民はひとつに統合の割合が高い

| 問14中学校の今後について | (人) |
|---------------|-----|
| 現状のまま継続 | 43 |
| いくつかの学校に統合 | 275 |
| ひとつの学校に統合 | 203 |
| 計 | 521 |

| 問14中学校の今後について | (人) |
|---------------|-----|
| 現状のまま継続 | 1 |
| いくつかの学校に統合 | 5 |
| ひとつの学校に統合 | 21 |
| 計 | 27 |

■保護者の区別回答集計 ※回答数が多いほど濃い色で表示

| 問14中学校の今後について | 未就学児 | | | | 小学校 | | | | 中学校 | | | |
|---------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | % | 南小学区 | 上山小学区 | 宮川小学区 | 中川小学区 | 南小 | 上山小 | 宮川小 | 中川小 | 南中 | 北中 | 宮川中 |
| 現状のまま継続 | | 7.2 | 6.9 | 0.0 | 18.2 | 5.8 | 13.5 | 4.8 | 12.5 | 11.1 | 8.3 | 0.0 |
| いくつかの学校に統合 | | 54.6 | 58.4 | 28.6 | 36.4 | 61.6 | 52.7 | 47.6 | 18.8 | 52.8 | 33.3 | 33.3 |
| ひとつの学校に統合 | | 38.1 | 34.7 | 71.4 | 45.5 | 32.6 | 33.8 | 47.6 | 68.8 | 36.1 | 58.3 | 66.7 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

| | 全体 | | |
|------------|--------|-------|-------|
| | 未就学児全体 | 小学校全体 | 中学校全体 |
| 現状のまま継続 | 7.4 | 9.1 | 9.1 |
| いくつかの学校に統合 | 54.7 | 53.3 | 43.9 |
| ひとつの学校に統合 | 38.0 | 37.6 | 47.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

【全 体】いくつかの学校に統合が最も多く次いでひとつに統合が続く。

【未就学児】【小学校】

宮川、中川小学区、中川小学校は、ひとつに統合の割合が最も高く、宮川小学校はいくつか統合と同数

【中学校】北中学校、宮川中学校はひとつに統合が最も多い。

問14 10～15年後を想定した場合、**中学校**の数（統廃合）の理由（抜粋・要約）

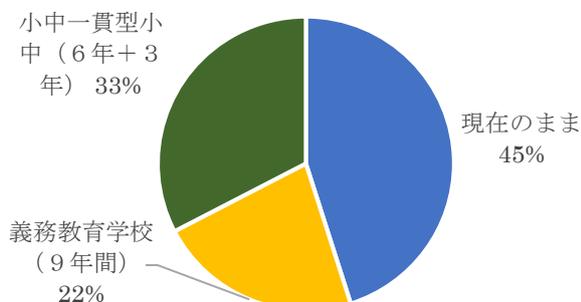
| | |
|-------------------|---|
| <p>現状のまま継続</p> | <p><現状の環境維持の希望> ① 統合はせずに、現在の校風・特色を維持したい。 ② あまり友達の関わりの環境を変えたくない。</p> <p><質の高い教育と競争の重要性> ① 現在の学校を維持。1クラスの人数を減らし、質の高い教育を提供して欲しい。 ② 学力や部活など様々な面で、学校間で競える環境を維持したい。</p> <p><通学距離への懸念>P19 小学校と同じ ① 学区が広がることで通学時間が長くなり、徒歩や自転車での通学が困難になるのは避けたい。 ② 学校が統合すればスクールバスでの登下校が必要になる。どのくらい負担が増えるか心配。</p> |
| <p>いくつかの学校に統合</p> | <p><教科担任制の確保> ① 高校進学を見据えた教育の質の向上が必要で、統合により教科担任制を確保する必要がある。</p> <p><質の高い教育と競争・選択肢の重要性> ① 部活や勉強で差が出てしまうため、一定の競争心を育む環境が必要であり、統合により人数が増えることで部活や勉強環境が充実する。 ② 統合で人数が増えることで、学習・部活動において子供達がしたいことができる環境（広い選択肢）が提供され、子供にとって良い影響がある。 ③ 人数が少ないと教育活動の選択肢が狭まり、学校の外への視野が狭くなる可能性がある。</p> <p><学校の老朽化と設備の問題> ① 学校施設の老朽化が進んでいるので、新しい設備や校舎の整備が必要。</p> <p><社会性の育成、多様な人間関係>P19 小学校と同じ ① 学校には適度な人数が必要で、集団生活を通してコミュニケーション能力が育まれると思う。 ② 友人は多い方が良く、小規模校での人間関係の固定化は避けたい。</p> <p><通学への対策>P19 小学校と同じ ① 1校に統合では、通学に係る距離と時間が増える生徒がでると思うので2校に統合が良い。自力で通学できる距離が望ましい。</p> |
| <p>ひとつの学校に統合</p> | <p>いくつかの学校に統合の理由に加え ※<通学への対策>を除く</p> <p><教育環境の向上、教科担任の確保> ① 教員数の確保と教科担任を確保するため3学級を維持するには1校に統合すべき。 ② 教員数の減少に対応し、効率的に教育資源を配分するため統合が望ましい。 ③ 中学校で新たな友人関係を構築し、学習や部活動の選択肢を広げる必要がある。 ④ 全ての中学校が古すぎる。新設・統合することで、デジタル教育の充実が期待できる。</p> <p><部活動と競争の促進> ① 統合によって部活動の選択肢を広げ、生徒数を確保することで競争心を育てる環境を整える。 ② 中学時代に様々な活動に取り組むために一定の人数が必要。</p> <p><現在及び将来を見据えた長期的な見通し> ① 出生数100人では3学級しか確保できない。教科担任を確保するうえでも、時間をかけずに効率的・効果的な学校運営が必要 ② 子供の数が減少することを見越し、20年先を見据えた統合を進めるべき。</p> <p><負担軽減と効率化・費用削減、老朽化対策>P19 小学校と同じ ① 統合の負担（子供・保護者・関係者、心理的・財政的）は繰り返さず、一度で完了して欲しい。 ② 統合を一度にする事で、管理運営費、将来的な建替費用等の市の財政支出を削減できる。</p> |

■小中一貫教育のあり方について

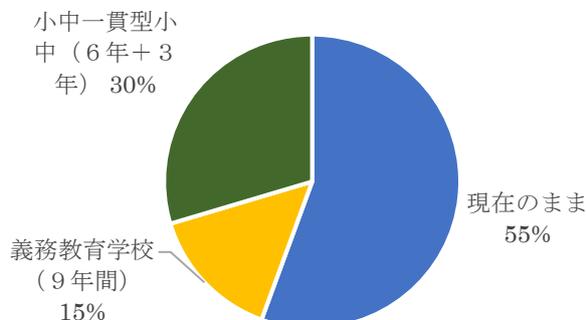
問15 「小中一貫教育」の導入について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

全体

保護者 521名



市民 27名



保護者 小中一貫教育が5割強

市民 現在のままが5割強

| 問15小中一貫校について | (人) |
|-----------------|-----|
| 現在のまま | 235 |
| 義務教育学校 (9年間) | 116 |
| 小中一貫型小中 (6年+3年) | 170 |
| 計 | 521 |

| 問15小中一貫校について | (人) |
|-----------------|-----|
| 現在のまま | 15 |
| 義務教育学校 (9年間) | 4 |
| 小中一貫型小中 (6年+3年) | 8 |
| 計 | 27 |

■保護者の区分別回答集計 ※回答数が多いほど濃い色で表示

| 問15小中一貫校について | 未就学児 | | | | 小学校 | | | | 中学校 | | | |
|-----------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | % | 南小学区 | 上山小学区 | 宮川小学区 | 中川小学区 | 南小 | 上山小 | 宮川小 | 中川小 | 南中 | 北中 | 宮川中 |
| 現在のまま | | 42.3 | 41.6 | 42.9 | 27.3 | 45.3 | 51.4 | 52.4 | 31.3 | 44.4 | 50.0 | 50.0 |
| 義務教育学校 (9年間) | | 24.7 | 27.7 | 23.8 | 36.4 | 25.6 | 14.9 | 19.0 | 18.8 | 11.1 | 25.0 | 0.0 |
| 小中一貫型小中 (6年+3年) | | 33.0 | 30.7 | 33.3 | 36.4 | 29.1 | 33.8 | 28.6 | 50.0 | 44.4 | 25.0 | 50.0 |
| 計 | | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

| | 全体 | | |
|-----------------|--------|-------|-------|
| | 未就学児全体 | 小学校全体 | 中学校全体 |
| 現在のまま | 43.0 | 47.2 | 47.0 |
| 義務教育学校 (9年間) | 25.6 | 20.3 | 15.2 |
| 小中一貫型小中 (6年+3年) | 31.4 | 32.5 | 37.9 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

【全体】小中一貫教育（義務教育学校、小中一貫小中学校の合計）が5割弱

【未就学児】中川小学校区は、小中一貫教育を望む割合が高い。

【小学校】中川小学校は、小中一貫教育を望む割合が高い。

【中学校】南中学校以外は、現在のままと小中一貫教育が同数。

現在のままを希望するとの回答の中には、現在のままと小中一貫教育との違いが分からないとの回答数が一定程度あった。

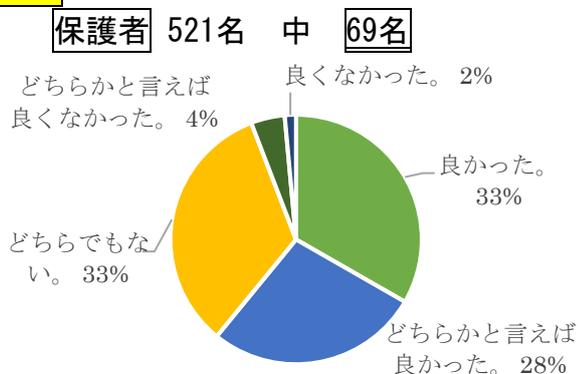
問15 「小中一貫教育」のあり方を選んだ理由（抜粋・要約）

| | |
|--|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現在のまま</p> | <p><小中一貫教育のメリット・デメリットが感じられない></p> <p>① 小中一貫教育のメリット・制度自体があまり分からず、現状のままでよいと思う。</p> <p>② 具体的なメリットが把握しにくい</p> <p>③ 現状に不満がなく、小中一貫教育のイメージができないため、今のままで良い。</p> <p><教育の区切りの重要性></p> <p>① 小学校（6年）と中学校（3年）という節目・変化が成長に繋がるので維持すべき。</p> <p>② 環境の変化や区切りが、子供の成長に必要。</p> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">小中一貫教育</p> | <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">義務教育学校</p> <p><児童の成長と継続的な教育（連携と連続性）></p> <p>① 小中一貫教育により、児童が継続して教育を受けられる環境が整うと思う。</p> <p>② 小中連携が強まり、教員間の情報共有がスムーズになる。</p> <p>③ 教職員の中学進学時の引継の負担が軽減できると思う。</p> <p>④ 児童生徒は環境変化によるストレスを軽減し、壁を越えやすくなると思う。</p> <p>⑤ 児童が長いプランで見守られ、成長を促すことができる</p> <p><教育環境の充実></p> <p>① 義務教育学校によって、質の高い教育環境が提供される。</p> <p>② 教員の確保と効率的配置により、教科の専門性を生かした教育指導が可能だと思う。</p> <p><効率的な学校運営></p> <p>① 学校運営がシンプルで効率的になり、小中連携が強化される。</p> <p>② 組織が一つになることで、人件費の削減が期待できるのではないか。</p> <p><人間関係と多様性の育成></p> <p>① 最上級生と低学年とのコミュニケーションによる新しい刺激や学び。</p> <p>② 小中の枠を超えた交流やカリキュラムの柔軟な対応が可能。</p> <p>③ 多様な考えや人間関係を学び、成長する機会を提供できると思う。</p> <p><中1ギャップの緩和></p> <p>⑥ 中学進学時の大きな環境変化を乗り越えやすくし、不登校の減少が期待できる。</p> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">小中一貫型小中学校</p> | <p><連携の強化と効率化></p> <p>① 小中一貫教育により、教員間の連携が強化され、効率的な教育が可能になる。</p> <p>② 小中連携でスムーズな引き継ぎが行われ、進学時のギャップが緩和される。</p> <p><学習環境の向上></p> <p>① 継続的に児童を見守りながら教育できる環境が整う。</p> <p>② 義務教育学校にすることで、質の高い教育環境が提供される。</p> <p><効率化と費用削減></p> <p>① 組織の統一により校長の数を減らし、人件費を削減する。</p> <p>② 教員の人的資源を効率的に活用できる。</p> <p><教育の区切りの重要性></p> <p>① 小学校と中学校の区切り・切り替えが子供の成長に重要。</p> <p><教育の差別化、教育目標の違い></p> <p>① 小学校と中学校は教育目的が異なるため、別々の学校であるべき。</p> <p>② 6年と3年の区切りが教育の質を向上させる。</p> |

■学校統廃合の経験

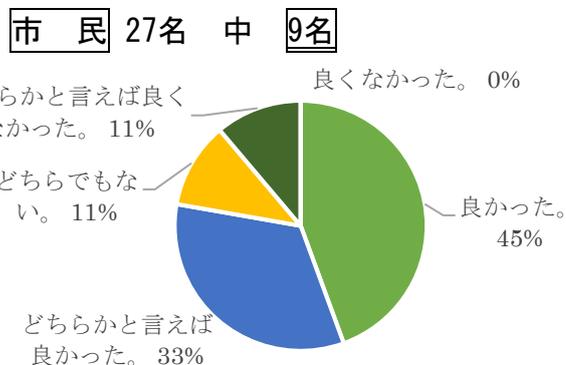
問16 学校の統廃合を行って良かったと思われませんか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。(1つ選択) また、その理由を教えてください。

全体



保護者 6割強が良かったと回答

| 問16 統廃合の経験から | (人) |
|-----------------|-----|
| 良かった。 | 23 |
| どちらかと言えば良かった。 | 19 |
| どちらでもない。 | 23 |
| どちらかと言えば良くなかった。 | 3 |
| 良くなかった。 | 1 |
| 計 | 69 |



市民 8割弱が良かったと回答

| 問16 統廃合の経験から | (人) |
|-----------------|-----|
| 良かった。 | 4 |
| どちらかと言えば良かった。 | 3 |
| どちらでもない。 | 1 |
| どちらかと言えば良くなかった。 | 1 |
| 良くなかった。 | 0 |
| 計 | 9 |

■保護者の区分別回答集計 ※回答数が多いほど濃い色で表示

| 問16 統廃合の経験から | 未就学児 | | | | 小学校 | | | | 中学校 | | |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | % | 南小学区 | 上山小学区 | 宮川小学区 | 中川小学区 | 南小 | 上山小 | 宮川小 | 中川小 | 南中 | 北中 |
| 学校の統廃合を経験していない。 | 87.6 | 95.0 | 71.4 | 100.0 | 73.3 | 98.6 | 81.0 | 93.8 | 80.6 | 91.7 | 50.0 |
| 良かった。 | 9.3 | 0.0 | 9.5 | 0.0 | 7.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.6 | 4.2 | 33.3 |
| どちらかと言えば良かった。 | 1.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 7.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 5.6 | 4.2 | 16.7 |
| どちらでもない。 | 2.1 | 4.0 | 4.8 | 0.0 | 9.3 | 1.4 | 4.8 | 6.3 | 8.3 | 0.0 | 0.0 |
| どちらかと言えば良くなかった。 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 2.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 良くなかった。 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

| | 全体 | | |
|-----------------|--------|-------|-------|
| | 未就学児全体 | 小学校全体 | 中学校全体 |
| 学校の統廃合を経験していない。 | 89.1 | 85.3 | 81.8 |
| 良かった。 | 4.7 | 3.0 | 7.6 |
| どちらかと言えば良かった。 | 2.3 | 4.6 | 6.1 |
| どちらでもない。 | 3.5 | 5.6 | 4.5 |
| どちらかと言えば良くなかった。 | 0.4 | 1.0 | 0.0 |
| 良くなかった。 | 0.0 | 0.5 | 0.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

【全体】6割強が統合して良かったと回答

【未就学児】統合を経験している南小学区(旧西郷第1・2小が統合)、及び宮川小学区(旧本庄、旧宮生、旧東が統合)で良かったとの回答割合が高い。

【小学校】【未就学児】と同じ傾向
【中学校】【未就学児】と同じ傾向

問16 学校統廃合の経験後の感想・理由（抜粋・要約）

| | 理由 |
|-----------------|--|
| 良かった。 | <p><友達や交友関係の広がり></p> <p>① 統合により新しい友達が増え、友達の幅が広がった。</p> <p>② 友達の幅が広がり、苦手な友達と間を置けるようになった</p> <p><部活や活動の充実></p> <p>① 部活動・クラブ活動の選択肢が広がり、できなかった活動が解消されて良かった。</p> <p>② クラブ活動で仲良しの他校の子達と同じ学校になれて嬉しかった。</p> <p><生徒増加によるメリット></p> <p>① 同学年の友達が増えたことにより楽しい活動ができた。</p> <p>② 少人数のメリットよりも大人数での教育や行事が子供にとって良かった。</p> <p><通学の安全性></p> <p>① スクールバスで安全に登校も出来るようになり大変ありがたいです。</p> <p><長期的な影響と地域の反応></p> <p>① 地区内年長者の統合反対への意見もありましたが、統合後も子供たちは地区の活動に参加することで楽しむことができたので良かったと思う。</p> <p><統合の必要性和提案></p> <p>① 統廃合を経験していないが、小規模小学校に在籍していて統合して欲しかった。小規模小学校から中学校に進学し、大規模小学校から進学してきた人数の差に圧倒された。小学校6年間の交友関係は大きく、その輪に入るのが難しい。</p> <p>② 学校の統合は当事者である保護者の意見を聞くことが大切。年長者の地域に学校を残す考えも理解できるが、子供への責任と負担を負う保護者の声に耳を傾けるべき</p> <p>③ 人数が多少増えたから。しかし、せっかくスクールバスを出して下さるのであれば、初めから南小と統合してほしかった。年長者の地域に学校を残してほしいという考えもわかるが、当事者である保護者の意見を重視して欲しかった。</p> |
| どちらかと言えば良かった。 | <p><友達関係と交流の拡大></p> <p>① 統合によって人数が増加し、新しい多くの友達や先生と交流できる環境ができたことで、良い刺激が増えた。友達関係が広がった。</p> <p>② 小規模校は人数が少なく、統合に不安があったが、現在は友達関係も問題なく過ごしている。</p> <p>③ 小学一年生時に統合されたことで、早期から友達関係が広がった利点があった。</p> <p><保護者の負担軽減></p> <p>① 統合で保護者も増えることで、PTA等の保護者の負担が分散され良かった。</p> <p>② スクールバス登校は、安全な通学手段であり、大変感謝している。</p> |
| どちらでもない。 | <p><母校が廃校となる悲しみ></p> <p>① 母校が廃校となったことが悲しかった。</p> <p>② 新しい友達が増え、切磋琢磨することで、得意分野が伸びる経験が得られたことが良かったが、旧校舎に強い思い入れがあり離れ難かった。</p> <p><合理的な選択></p> <p>① 母校がなくなったことは悲しかったが、今後を考えると合理的で、当たり前の選択だったと思う。</p> |
| どちらかと言えば良くなかった。 | <p><学校統合に伴うトラブルやストレス></p> <p>① 大きな学校に行くことで小さなトラブルがあり、子供も慣れない環境でストレスが増えました。きめ細やかな対応が必要であったと思います。</p> <p><先生の児童との向き合う時間の減少></p> <p>① 友達が増えたことはポジティブな面ですが、先生が子供一人ひとりに向き合う時間が減ったと思います。</p> |
| 良くなかった。 | 寂しいから。（原文のまま記載） |

問17 ■上山のみらいの学校のあり方への提案・意見（自由記述）

※ 原文抜粋（個人情報特定箇所、設問趣旨と合致しないもの等は修正・削除）

※ 令和6年度意見交換会と同じ分類分け（順不同）

- 教育内容（ソフト・ハード）に関する意見 …… P27～
- 学校統合・大集団を望む意見 …… P32～
- 学校現状維持・小集団を望む意見 …… P37
- その他、総合的な意見 …… P38～

■ 教育内容に関する意見（ソフト・ハード）

教育内容（ソフト）

1. 子どもが安心して教育を受けられる環境を学校だけでなく地域でも整えていければいいのかと思います。
2. 通常授業に無理矢理デジタルを入れても児童が理解に追いついていない。読み書き、算数を徹底すべきで、デジタルは中学から本格化すべき。
3. 目の前にいる子ども達がどうやったら笑顔で一生を過ごせるか、そこを大切にしながら考えていただけたらと思います。
4. 公立小中学校でありながらも、私立学校並みの高い教育水準を受けられ、最先端の考え方や物事に触れられ、教師や児童も首都圏の学校に見学に行ったりできるなど、上山独自の教育指針を打ち出し、人口減少や少子化対策を補助金に頼らないようにしないといけない。
5. 市の強みとして、小さなまちだからこそできるものがあれば。例えば、有料ですが習い事が放課後の学校や旧カミンでできる、とか。*そろばん*英会話*習字*体操（週によって変われば色々できて面白い。今週は縄跳び、次はバスケ、その次は跳び箱とか。サッカーや野球はスポ少があるので。
6. 上山市という自然豊かで歴史的文化がある土地を活かした、子供1人1人が個性を伸ばせる教育を受けられる環境を希望いたします。
7. 秋冬の帰り道がとても暗いし、帰る方向に同じ学年や帰る人が少なく、熊出没なども本人は不安で、親は心配なのでスクールバスに乗れるといい。また、気象状態によっては歩行困難な場合もあるため、登下校でスクールバスに乗れるといい。
8. 先生方、保護者、地域住民が子供をちゃんと見守り、あいさつなどしあえて、明るい学校になるといいなと思います。
9. 地域住民も気軽に参画できる学校だといいなと思います。
10. 教員の人数確保や働き方改革などで、教育現場が大変であると思います。意見する我々は自身の経験からしか意見を述べることしかできませんが、子供達が苦しむことのない環境になればいいなと思います。現代のネット社会の普及により、昔よりも体力、気力、肉体的に弱い子供達が増えているようです。私は中学部活動を通して心身ともに鍛えられたことと、楽しかった思い出がありますので、ぜひ体を動かす機会を設けて欲しいです。
11. 部活も自由化になり、運動する子がどんどん減っていかないようにして欲しいです。そこは市だけでなく県全体になりますが。
12. 地元の歴史、生活文化、自然、芸術に触れる事、自分たちのアイデンティティー、日本人としてのアイデンティティーなど、しっかり学び、誇りとして語れるように育てていけるといい
13. 教職員の数が最重要課題に感じます。今の倍の人数で学校を運営できるような「上山市独自の制度」を作ってはどうか。
14. 国が定める規模は、過疎地域のメリット（小規模学級での手厚い運用）を活かせないように感じます。
15. スクールバス登校を進めてほしい。夏が暑過ぎたり、治安維持が難しくなっているため。
16. 子ども達のがびのびと学べ、かつ教員が激務に負われない学校環境が理想です。
17. 放課後に希望する生徒が塾や家庭教師などを利用しなくとも勉強できる環境、教えてくれる環境整備を切にお願いしたい。

18. 学校は子どもたちが安全で楽しく学べる場であって欲しいです。特に中学生は思春期で、友達関係や学習の悩みが出てくる時期だと思うので、少子化で統合となったとしても保護者と先生が身近な存在であり、常に相談できるような環境であってほしい。
19. 1人1人に寄り添って、一緒に成長を見守って行ける環境、発達障害児や知的障害児に理解のある対応を希望します。
20. 様々な方法はあるかと思います。学びの多様化学校のように様々な取り組みがある中、子どもたちがより楽しく、個別最適な学びを行える場が提供されれば良いなと思います
21. 子供が少なく、いろんなことで経験値が低くなる気がする。(勉強、人間性などなど) 色々な人(人種)との関わりが、子供個人が選べる環境が望ましいと思う。
22. 小中学生の自殺が年々増えてきているというニュースを目にした。個々の個性や性格を理解した上で、地域全体で子供達を見守り、育てていくことが大切だと思う。
23. 運動がさみしい。もっと競技を増やして、盛り上がる様にしてほしい
24. 小さいうちから障害者や高齢者に対する理解を促す教育カリキュラムを取り入れてほしい。社会の理解の重要性を感じている。私が小学生の時ゆきわり養護学校との交流がありました。偏見をなくし、共に地域で生活していける存在であることを親子で理解することが大事だと思う。虐待も含めた人権についても学ぶ機会を取り入れてほしい。
25. 学校での集団生活はとても大事だと思うので、このまま学校という場所はあるって欲しい。反面、合わないと感じる子を心配する親も安心して教育を受けられる場所や制度もどんどん変えていって欲しい。
26. 学校教育は教室という閉鎖的空間で子供、と、大人、が第三者の目に直接触れることなく行われることなので、先生や教育委員会の方々などの人材の充実を求めて行くとともに、我々保護者側の人間性も常にアップデートしていかなければと考えます。
27. 負担のない範囲で面談の範囲などを増やしていただき、お互いに信頼出来る環境を整えることで、子供達がより安心、安全に暮らせる社会が実現出来るかと思います。
28. 部活動自由化になり少子化もあって、団体競技をやりたくてもやれる環境がない。市町村によってクラブ等もレベルが違いすぎて、子供がやりたいことがやれない環境にある。学校に行くのが楽しいと思える子ども達が少しでも多くなるように、ハード面とソフト面の両方をより充実したものにしていだけたらと思っています。
29. ICT教育や学びの多様化など、時代に対応した教育も大切だが、利便化が進んでいることで子どもの思考力が低下しているように感じる。活字を読んだり、実際に体験したり、集団規律を守ったりすることの大切さも忘れずに教育して欲しい。
30. 子供たちが元気に通いたくなる学校であれば何よりです。
31. 少子化がどんどん進む中で子ども達がどう学んで行くのか、自分で生きるという力を身につけていって欲しい最低限の経験や学習環境は整ったところに通わせたい。地域で検討の上、将来に繋がる学びの場を作れたらいいなと思う。たくさんの方の意見や協力が必要だと思う。
32. 子供は未来なので、好きなことや得意を大事にして、苦手なことは人とつながり協力する力を身につけられるように育てて欲しい。そのため、人間性を重視した学校があればと思う。
33. 中学校の部活動で、希望の部活動に入部出来ず、あるものでの選択だったので、選択項目をもう少し増やしてほしいです。
34. 地域に子どもが少なく通学班を形成出来るのか不安。
35. オンラインを活用することで、学習機会の多様性に対応できると考える。リアルな友達関係と並立する

ことで、様々な文化を学ぶ機会につながると考える。

36. 探究的な学習メインで、子どもたちが主体的に課題に向かう姿を期待します。ICTの教育利用をより進めて、YouTubeやゲームだけではなく学びに生かせるよう、先生方が教育用アプリを積極的に使ってほしい。高校入試が紙なので授業への積極導入に踏み切れないのはよくわかります。入試を問題用紙だけでもタブレットにするなど、働き掛けをお願いします。全国のパイオニアになって山形県が推進してほしい。応援しています。
37. 通学の往復が心配、子どもたちの安全性を高めてほしい
38. 障害や特性のある子供達も、取り残される事が無い学校、環境作りを望みます。
39. 集客できる学校作りを目指してもらいたい。明新館高校などは個性的で面白そうな学校だと感じる。小学校・中学校も個性を伸ばせるような魅力的な学校に通わせてあげたい。
40. 小学校の通学時を狙った犯罪も増えているので、小学生はできるだけスクールバスで通学させるようにすると安心だと思います。
41. 学校のあり方というより、上山市全体の問題として取り組む必要はあると思う。少子化問題はどこでも同じ。どうやったら子供達が義務教育期間を楽しく穏やかに過ごせるかを考えていかなければいけないと思う。個人的にはハード面よりソフト面。地域から学校がなくなるというのはとても大きいこと。子供達の気持ちも含め、動く必要性はあると思う。
42. 現在小中学校はデジタル化や少子化も進み、以前とは全く異なる体制となっていると思います。難しいことも多いかと思われませんが、小中学校の経験が人生を大きく左右する場合があります。自分の子供だけでなく、地域の子供たちがいじめなどなく楽しい小中学校生活を送れることを第一に私たち親も一緒になって頑張っていければと思いますのでよろしくをお願いします。
43. 勉強は勿論だが人との関わり方を良く学べる場だと思う。心が成長するととても重要な場なので安全に楽しく過ごせる学校が良い。先生方の待遇等負担を考えると辛くなります。子供はもちろんですが、先生方の待遇が良くなればおのずと全て上手くいくのではないかと思います。保護者のクレームを恐れているような風潮をよく感じます。保護者の立場ですが、それはあまり気にせずもっと強い立場で提案等して頂いて良いと思います。
44. 上山小学校の先生方の質の高さ、課題への早急な対応、またその過程に、本当に感心し感謝しています。先生たちのご苦勞も多分にあるかと思いますが、上小での学校生活を通して見ていると、上山の教育水準はとても高いと感じます。この場を借りて御礼申し上げます。
45. これからどんどんデジタル化が進んでいるので、こういう分野も取り入れてほしい
46. 南小、上小、南中、北中は、残してほしい。中体連も、山形市と合併されるのは嫌です。
47. 子どもたち1人1人の主体性を大事にし、のびのびと学習、活動ができる環境となることを何よりも大事に考えてほしいです。
48. 子供の移動手段を楽にしてほしい。(無料でどの時間でもバスなどに乗れるなど。) 登下校中、学校内でも無事かどうかわかる手段があると嬉しい。
49. プロの方にクラブ活動などを指導して頂き、先生は学校教育に専念して欲しい。
50. 地域の高齢者から赤ちゃんまでいろんな人と関われる機会を大切にされた環境を作って欲しい。
51. 子供がのびのびと生活でき安心して成長できる場所になってほしい
52. 学校の統廃合は時間のかかる大事業かと思いますが、放課後こども教室など、上山オリジナルの放課後を使った交流会や共同事業で上山市全体の子供も達が様々な文化、芸術、スポーツに触れる機会が続いてほしいと思います。良い取り組みだと思うので県内、県外への広報がさらに必要と思う。

53. 教員以外にも地域の方や補助の方をうまく使いながら学習をすすめて欲しい。
54. 少子化は避けられないので行事のあり方を考え直したり、学校と保護者双方の負担が少ないやり方を考えてほしい。
55. これから子どもを産む人にも安心して通わせる学校にして欲しい。運動施設、屋内プール、使用できる会場なども増えれば、学習面、運動面でも伸ばせる部分が増えると思います。
56. これからの子供達には、「人間力」を持った大人になって欲しいと思います。様々な経験や知識を持ち、生き抜いていける力を学べる「上山のみらいの学校」をお願いします。
57. 任意の部活動参加については子どもの体力低下、経験数の低下、集団活動の経験、等考えてもある程度参加を促す方向であって欲しい。
58. 上山では新年度から新たに多様化学校をスタートさせるということで、どういう形になるか期待をしているところです。いろいろな子供たちがいる中で、1人1人に寄り添った教育を進めていくことは簡単なことではないと思いますが、良い形になるように少しずつでも進めていただきたいと思っています。
59. 南小学区に人が集中しており、上小学区にも分散するよう学区の見直しが必要であると考え
60. 通学区域を選択できるようにしてほしいです。みはらしなど一部地区に住む児童はせめて入学前に山形市、上山市のどちらかの学区選択できるようになれば、子どもにとってもいろいろな可能性を考えることができると思います。様々な事情があるのかとは思いますが、上山市民なのに山形市の学校へ通うことに違和感がありますし、他に同じ意見の人も少なからずいるのではないかと思います。
61. 子どもがどんどん少数になっていく未来だとしても、子どもたちが将来に不安なく希望を持って過ごしていける学校があるのがなるべく望ましいかなと思います。
62. 山形市や南陽市からも特例的に児童を受け入れることも視野に入れてはどうか。また、県と協議し、明新館高校との中高一貫校を設置するのはどうでしょうか。
63. 教員免許所有者以外に、現役社会人を招いての授業も良いかと思っています。
64. 多様な学びを保障することは良い。
65. 他地域からも入学を希望され、有秀な人材が集まる様な教育プログラムを持ち、その学校の卒業にステータスを持たせてる様な教育体制をつくって欲しい。
66. 子供たちが笑顔で過ごせる学校が一番だと思います。でも学校というひとつの集団で学校の中で守ってやれるのも学校の中だけなので社会に出た時、どう自分と向き合えるか、自分を守るか、大切にできるか、また、相手のことも理解し大切にできるかを大人も一緒に考え可能性がより広がる未来になればと思います。テストの成績を良くすることしか、テストの点数で自分の価値を見い出せない評価できない子にはなって欲しくないです
67. みらいの学校はあくまでも 児童生徒の成長の助けになる学校であって欲しい。最終的には社会のなかで適応して豊かな人生を送れるようになって欲しいです。
68. 個性を伸ばし 他にはない教育 英語に特化した学校 芸術に特化した学校 自由な発想の出来る学校、他にはない自然の中の学校、田舎のいい所を生かして学校を考えてほしい。
69. 将来のための仕事体験の充実をお願いしたい。
70. 地域に開放された学びの場になれば、関わる人も増え見守りやサポート体制が充実すると思う。一般の方の夜間中学の運営や学び直しの教室、英会話教室なども行って欲しい
71. どんな形であれ、子ども一人ひとりが大切にされ、生き生きと学べる機会を提供してもらいたいです。

学校施設（ハード）

1. 子供の数が少ないからこそ個性の尊重が可能だと思いますし、教育設備やバリアフリーなどの環境も整った綺麗な校舎も希望いたします。
2. 施設の老朽化によって学びの環境の質の差が生まれないことを願います。部活など、やりたいことができないことがないように、柔軟な体制作りをお願いしたいです。
3. 中学校の老朽化が気になりました。
4. 部活動が任意となって来ている昨今、スポーツ人口が減って来ていると感じます。まずグラウンドの設備が上山市は遅れています。他の市や町には人工芝のグラウンドがあり、どのスポーツでも誰もが使える環境が整っております。子供が小さい頃から興味を持ってもらえるように、スポーツ人口を増やすためにも、まずは環境を整える必要があると考えます。施設があることで市外からの転入も期待しつつ、ご検討いただきたいと思います。
5. 参観などで校舎を訪れるとトイレの古さが残念である。どんな環境でも過ごせるほうが良いが、使用頻度が断然高い小中学校の設備ぐらいはそろそろ新しくして欲しい。

■ 学校統合・大集団を望む意見

1. 上山市より人口規模の大きい自治体でも統廃合が進んでいます。統廃合によって、他人との関わり方を学ぶ機会を維持すること、子どもが興味のある活動に制限なく参加することができます。また施設管理に係る財政面の負担も減ると考えられます。子ども達には楽しいこと、面白いこと、大変なこと、悔しいこと、考え行動しなくてはいけないこと等を沢山経験できる環境で学校生活を送ってほしいです。
2. 今上小でも、地域の方や家族の方にお手伝いしてもらいながら、子供との関わりを持つことは良いことかと。学校を1つにして、学校行事がある時は子供、孫がいるいないに関わらず参加、見学が出来るなど、みんなで子供を育てるという考え方も良いかと。
3. 祖父母の時代から中学校の建物が変わっておらず、もちろん親の世代でも古さを感じていました。子達の世代でも同じ中学校の建物になると可愛そうな気持ちになります。トイレなどその後工事されたかなどはわかりませんが、古くてトイレが出来ず、家へ帰るまで我慢してたなどという話も聞いたことがあるため、早急に建て替えを希望します。財源などで難しいこともあると思いますが、子供は宝！よろしくをお願いします。
4. 統廃合に関し、いろいろ対応が遅いと思う
5. 小学校は小規模でも我慢できるが、中学については早急に統合してほしい。全校生徒が40人もいないのはかわいそう。小規模校のメリットもあると思うが、デメリットが大きすぎる。子供たちの可能性を狭めないでほしい。
6. どうか小規模校に通う生徒や保護者の声に耳を傾けてほしい。数年後の課題ではなく、子供たちにとっては今現在の課題。早急な統合の対応をお願いしたい。
7. 中学校は近々早く1つに統合してほしい。小学校も人数が少ないので近々統合してほしい。
8. 今が一番難しい時期かと思います。大人の都合や考えもあるかと思いますが、これから未来に向かう子供達を第一に進んで行ってほしいと願っています。
9. 統合して、自分達の頃のようにワイワイ賑やかな学校を目指していただきたいです。
10. 2050年には上山市の人口は8000人まで減ると試算され、出生届けも年々へり学校の存続すらできなくなることが心配
11. 現状では、学校の人数に偏りがある為、上山が分譲地等や人を寄せる政策を成功できないのであれば小学校、中学校を統合して、遠方からの学生は、全て無料バスを充実して対応し、先生を1クラスに2名以上配置した方が学力向上につながると思う。
12. 少子化が進むことは目に見えているため、小学校や中学校の統廃合は必要となってくると思う。ただその際には保護者や地域住民へ十分な説明や意見交換を行ってほしい。
13. 統合の場合、通学のあり方を前もって詳しく知りたい。現在の学校に統合するのか新しく校舎を建てるのか知りたい。
14. もうすでに少子化が進んでいるので早く学校を統合していただきたいです。よろしくお願いします。
15. もし、小中一貫にするとしたら、その学校へ行くまでの距離や方法がとても不安です。遠ければ行き帰りが子供たちも大変だし、親の負担になる部分も出てくると思います。それでは、困るなと思います。子供たちの安心、安全もしっかり考えて欲しいなと思っています。
16. 上山市在住の子供達だけが時代に、取り残されないように。大人になった時、全国で通用するような教育や環境、心を育めるようにしてほしい。温水プールもなく山形市のスイミングスクールに、通わなければ泳げない子供、沢山います。上山から離れるたくなる気持ちは分かります。塾や習い事を必要とし

ないくらい徹底してほしい。ひとつにまとめる事によって環境整備できるのであればそうして欲しい。

17. 統廃合が前提と思いますが、登校や帰宅の手段について、スクールバス等の対策も必須と考えます。
18. 統合になること自体は賛成。登下校に時間が、かかるのが心配。生徒の居住地によって、(スクールバスだとしても) 家庭での学習時間の確保に差が出そう。一部の校内清掃を業者に任せて少しでも早く帰れる曜日を作るとか、遅刻早退の送迎やPTAの集まりが遠い地区の保護者の負担になるという雰囲気が出てしまうとやはり他の学区への引っ越しの方が魅力的な選択肢になる。
19. 遠い未来を考えれば、児童数が減少していくのは、誰しもが予測出来る未来像かと思います。
20. 統廃合は、子ども達の学習環境を考えれば致し方ない。合同学習や、オンライン授業など、子ども達が、井の中の蛙とならぬよう、子ども達ファーストな学校が出来ることを願います。
21. 人口減少は加速する一方なので統廃合は致し方ないと思う。ただ各学校の伝統がなくなるのも寂しい。
22. 中川小は上山小と早急に統合すべき。子供の未来が見えてこないです。少人数のメリットはない訳では無いですが、多様性、協調性、主体性どれも欠けていると思う。人数がある程度いる学校に通いたいののに、許可基準に認められず通えず指定校の少人数校に通わなければいけないのは子供の学びの幅を狭めていると思う。上山小と早急に統合すべきです。子供も親も安心できる学校にして欲しい。
23. 今後、学校の統合となれば徒歩での通学が難しくバスを利用する事も出てくると思うが、その際の助成金を検討して欲しい。
24. 今後の上山市の人口減少は目を見張るものがあり、他市町での学校統廃合はとても魅力的に感じています。上山市でも早急に検討していただきたく、切に願っております。
25. 近隣市の学校は、校舎が整備されるのに対し、上山市は古い校舎が多いと感じる。特に上山北中は建て替えるべきです。
26. 統合で遠くなっても、送迎の支援が確り整ってくれば良いと思います。
27. 中学校は早く統合して新しく建てて欲しい。小学校はいずれ上小に集約してもいいのでは？小学校、中学校は同じ場所にしなくてもいいのかなとは思う。
28. 少子化、高齢化が影響していて、昔のような上山市にあった活気が失われつつある。入りたい部活がない、チームが組めずなくなってしまった、仕方なくこの中で選ばなければならないという子どもたちの選択が可哀想に思います。ますますコミュニティやコミュニケーションが細くなるので、学校という場を今以上に充実したものであってほしいです。
29. 私は規模の小さい学校だったので、ずっと同じメンバーで過ごし、人間関係は固定化され、高校に入ってから急に広い世界に投げ出され、はじめての友達作りに苦労しました。クラス替え、クラスマッチ、好きな部活を選ぶなど、他の規模の大きい学校の生徒が経験してきたことが出来なかったのは当時悔しかったです。私は自身の経験から統合を望みます。
30. 上山市の財政を考え、将来的には統廃合は致し方ないと思います。送迎バスやそれに伴う部活動など課外活動に影響がでないよう最大限検討して対策もして頂きたいです。
31. 統合する事によって、教育や部活動に子供たちの選択の幅が増えるのであれば良い事だと思う。
32. 中学校は各校が建築年数に不安がある為、新校舎は必要だと思う。(自分の親と自分と自分の子供の3世代が同じ校舎に通う事態にはならないでほしい)
33. 人数が多ければ良いというものでもないと思いますが、部活動や、いろんな友達との関係性を築いていく中である程度の人数が居ないと子供達に色々な選択肢を与えられないと思います。特に中学校では多くの部活動の中から選ばせてあげたいので統合を視野に入れて検討してもらいたいです。
34. 子ども一人あたりの学習、能力向上のソフト的な予算を確保するため、施設整備は可能な限り縮減して

人口減少、予算低減に対応していくべき。

35. 15年後のみらいの小学校や中学校の生徒数に驚きを感じると共に、実際に周りで引っ越しの話を聞きます。上山市ではやりたい部活やクラブがなくて不便なため引っ越し、近所に同級生もいないから親と子ども世代だけ引っ越し等です。今後の生徒数はますます減りませんか？小中一貫教育について良い案だと思いました。特に中学校はどちらも古く今後子供の人数は増えないため早く統合して欲しいです。
36. 子どもが学びたいこと、経験したいことが少人数だからできない部活動の在り方などが統合で改善されるといいです。
北地区エリア、南地区エリアで学区の編成をもう一度考え直して、小学校も中学校も2つずつ、同一敷地内に小中が一緒。入り口は一緒だけど校舎が別なので、お互い挨拶したり、必要な行事がなければそこまで関わることはない。体育館もグラウンドも別。メリットは給食は一気に持って来れるからガソリン代が減る。デメリットはスクールバスの台数、維持費、交通費。北中古いので立て直すなら早めに。
37. 市内の全ての中学校の建物が古すぎるので新しく1つの中学校を建ててほしい
38. 小中一貫校や義務教育学校になる場合で、生徒同士・先輩・教師と人間関係のトラブルになった場合、逃げ場なくなるので、いじめや不登校にならないようケアしてほしい。
39. 統合の際、学校から遠方の生徒の登下校のためのスクールバスの用意もしてほしい
40. 1つの学級の人数が少なくなるくらいなら、統合してしまった方がいいと思う
41. 今後の上山市子どもたちが、様々な人と関り合いができ、自分を表現できる環境を整備して欲しい。そのためには、人間関係が固定化しないように統廃合や小中一貫教育を取り入れていくことを見据えて対策を考えていく必要があると感じます。よろしくお願いします。
42. 我が子のことを考えると、どういった結果になるにせよ早い段階で今後の方針を知っておきたいと思います。また、統廃合するにしても、校舎の老朽化(南小のトイレと上小のトイレの差)について真剣に考えて頂きたいです。同じ市に住み、同じ税金を払って通わせているのにもかかわらず、施設の差があまりにも大きく悲しいです。
43. 必ず子供の人数は減っていき増えることはないので思い切った統合でも良いと思います。してみなければ良いも悪いも分からないので、動かないより動いてみましょう。応援しています。
44. 学校があまりにも古いし遠いし寒いのでもう少し住宅街に近いところにたててほしいし、駐車場から乗降口まで遠すぎます。学童も古いし預ける人が多くなることももう少し考えて新しく大きい建物をお願いします。
45. 小中学校とも将来的にはひとつに統合、校舎も見合った規模で新設するのが良いのではと感じます。
46. 統廃合をして、より多様な価値観に触れる機会を増やしてあげてほしい。高校や大学の人数の多さに驚き、自分の殻にこもってしまっている子が多い気がする。
47. 前例に捉われずチャレンジしてほしい。少子化はわかっているので、その中で無駄な学校をなくし、立て替えも含め、ある程度数の学校へ統合することは急務だと思う。学校を新しくすることで、上山へ移住する若い世代が増える可能性もある。その中でいい先生をどう確保していくのかも大事だと思う。
48. 上山市の子供が増えることがあまり考えられないので、基本的には統合した方がよい。そもそも市内の学校が古すぎるので立地の良いところに新しく建てて学校統合した方が良いと思います。
49. 近い将来 上山市の小学校は統合されるかと、と思いますが、子供達が、のびのびと学べる環境作りを願っています。
50. 現在は、小学校の方が児童数の偏りがあると思うので、優先して学校統合した方が良い。小中一貫教育は既に行っている学校を見学する等、地域全体で議論する必要がある。

51. 早急に統合を進めて頂きたい思いでいっぱいです。子ども達の将来のことを真剣に考えたら、現状維持をする選択肢はないはずです。地域のしがらみなどあるのかもしれませんが、子ども達のことを思えば上山市は早急に統合を推し進めるべきです。子ども達も親も変革を望んでいます。統合は10年以内に…と聞いたことがあります、その間に子ども達は大人になってしまいます。どうか、どうか統廃合の話を前に進めて下さい。
52. 少子化は目に見えているので、スピード感を持って対応してほしいと思います。
53. 児童数の減少に伴い、いずれ統廃合は必要だと感じている。また、学校の老朽化も進んでいるため中学は1つに統合しても良いと思う。統合すれば通学が大変になる地域も出てくるので不自由のないように考えてもらいたい。
54. 新築、小中一貫校が理想だがそれで納税が増えるならしなくて良い。小学校は上山小、南小の2校に統合でも良いと思う。中学校は人口分布的にも建築年数、規模等から明新館の活用を検討してもらいたい。体育や部活で団体スポーツをする選択肢、挑戦する機会を平等に与えてあげたい。先生の負担を減らすために学級の人数は減らすべき。先生の数、なりたい人を増やすべき。
55. 「かみのやま一丸の教育」のスローガンで、子どもたちをすべての市民で、見守り、育み、進むべき道を歩めるよう協力することが大切かと思う。早めに統合に向けて進んで欲しいと思っています。まだ成果は不明ですが、不登校の子どもたちの学校も併せて、スピード感を持ち進めてほしいです。
56. 9年前、市全体で出生が200人を切っていたのにそこではアンケートなど話が上がり、今更10年後を見据えてのアンケートって遅すぎる。あんなに人数がいる寒河江市でさえ統合を決断しているのに、人数が何倍も少ない上山がなにをモタついているのかがわからない。今後の子供達のために2年後くらいで統合を決断して下さい。
57. 現在中川小学校に通学していますが、複式学級になる話を聞いてから、上山小とは統合するのかなと思っていました。人数が100人を切っている、子供たちのことを考えるとたくさん友達と一緒にの方がいいのかなど、いろいろ問題があると思います。統合になったら送迎バスはあるのか、親の負担では正直厳しいです。
58. 1学年1学級の場合、人数が減ってしまう前に早めに統合などの案をだしたほうが良いと思います。
59. 少数の学校生活より多数で団体生活・活動の経験や地域交流を通じて社会に羽ばたける子供の育成をお願いします。
60. いずれは小学校を1校、中学校を1校に統合するのが望ましいのではないかと思います。
61. 学校の統廃合について大変興味深い案件です。既存老朽校舎の修繕や環境負荷を考えると早期に検討を進める必要があります。小中一貫校となれば900人規模の校舎が必要となり、いまの校舎を使えなさそうなので時間かかりそうです。統合のタイミングをしっかりと見定めた上で進めて欲しいと思います。
62. 統合に反対意見もあるとおもいますが、がんばってください。
63. 早期に統合の方向性を定めるべきです。
64. 大人が楽になる為でなく、大多数の子ども達にとっての将来を真剣に見据えた変革になって欲しい（少数の子ども達の意見には個別対応して欲しい）更には、山元地区の子ども達も上山の学校に戻ってこれたらいいと思います。
65. 高齢の方が言う上山市の歴史も分かるが時代の変化に対応した学校づくり・統合を早急をお願いしたい。農村地区に住んでいる子どもの登下校の問題も忘れずに対応していただき、子育てしやすい上山市にしていただきたい
66. できるだけ適正規模で、児童生徒の自己実現をめざす学校であることを希望します。”

67. 学校を統合しまとめ、その周辺から無料バスで習い事への送迎をしやすい街づくりをしたり、周辺への習い事関連業者の誘致をしていってほしい。
68. 他の市町村をみても、すでに統廃合で素晴らしい環境で学校生活を送っています。上山は特に中学校が古く、最初に小学生はその施設の古さにショックを受ける子がいるそうです。先を見越すなら、小学校2校、中学校1校で十分だとも思います。
69. 校舎の老朽化も含め少子化も待ったなしの状況だと思います。小学校も中学校も統合に向けた動きが遅いぐらいだと思います。
70. 将来の見通しがわかる状況で早めに手を打たなければ上山で子育てをしようと思う若者はどんどん減っていく。実際 受けさせたい環境ではないとの理由で山形に引っ越した人もいる現状です。早めに対応しなければ見通される数字も変わってくると思います(深刻なほうに)”

■ 学校現状維持・小集団を望む意見

1. 人口も子供の数も減少していくのは明らかですが、極端に小中学校を一つにするのは賛成ではない。
2. 子供達は、同級生の数が10数人と少ないですが、同級生も他学年もみんな仲良しです。また、先生方の目が届きやすく、いろいろとケアして頂けていると思います。人数が少なくてかわいそうな面もありますがいい面もあります。
3. これまで通り何かを変えずやってほしい。自然の中にある地域だからこそ、のびのびと子供らしく過ごせる見通しの良い学校になっていけたら嬉しいです。
4. 1学級であるとクラス変えができずに人間関係が固定されるおそれがあると考えの方もいるかもしれないが、慶應の幼稚舎など、私立小であればこどもも担任も同じである。大事なのは学級数やこどもの人数というよりも、どこにいても多様な学びができる指導であると考え。対面での児童の接触の減少考えるより、ICTを用いた共同学習を考えた方がよいと思う。
5. 学力差・学欲差のケアなど、少人数や教員不足によって受験や進路において不利にならないようにしてほしい。
6. 私は学校統合経験者です。途中から新しい学校に入る不安は大人には分からない程でした。統合する事が全てとは思わない。そんな少数の意見にも耳を傾けて欲しい。

■その他、総合的な意見

1. 保護者負担が大きいので、PTAの組織を無くすか、業務委託にするべき。
2. 人口を増やしたり、少子化対策で移住者に補助金を出すやり方はあるが、一時的な対策に過ぎず、効果的ではない。
3. 少子化の現状に合わせるのではなく、最大限人口を増やす取組をしてから統廃合は考えて欲しい。
4. 学校もそうですが、学童保育など保育園が終わってからも安心して働ける環境をととのえてほしい。一箇所だけよければ子育てが完結するわけではないので、補助金なども大事だが自助努力できる環境を整えてほしい。
5. 未来の学校の在り方も大事だが、少子化問題をどうにかしないと意味がないと思う。
6. 学校や生徒の問題もあるが、学童保育などにも力を入れて欲しい。就労による審査は大事だと思うが誰でも入りやすいようにして欲しい。大体の方は3、4年生までしか入れないと聞いたが、6年生まで入れたい保護者もいると思う。交通事故等が増えている中、安心できるのは学童保育だと思います。
7. 小学校中学校の問題もあるが、学童や保育園等の問題もあると思う。昔に比べ核家族・共働き家庭が増え、学童や保育園の利用時間帯が昔と比べ送迎が難しい事。(例えば土曜日の学童7:30~18:00→7:15~18:30にする)
8. 学校閉鎖や学級閉鎖時の預け先がないなどの問題もあると思う。(一時的に預け場所の確保)
9. 現在、不登校の生徒が多くいます。理由は様々ですが中学生という一番不安定な時期を安心して過ごせるように、もっと周りの大人(担任・担任外の先生、親、専門医など)が関われる環境を整えて欲しい。親と担任の先生だけでは解決できない場合がほとんどだと思います。このような状況はますます今後増えてくると思われます。
10. 人々が集まれる場所が少ないこと、店の閉店時間が早く駐車場も小さいこと、交通手段の不便さなどから今後も上山市の子どもや人口が減り続けると思う。大切な上山市の子ども達の為に教育環境をしっかり整え、子ども達の学校生活が悪い環境になる前に山形市の学校に移行するなど前もって計画し実行すべきだと思う。貴重な上山市の子ども達に質のいい指導者と環境の確保をお願いします。
11. 子供達や子供をもつ家庭(特に核家族)への負担が少ない環境を作っていただきたい。(PTAの廃止も含めて。)
12. 人口減が深刻です。統廃合の議論も大事ですが、同時に人口流出を止められるよう大きな企業を誘致したり今以上の子育て世帯が暮らしやすいよう、外から呼び込んでなんとか人口増に向けて頑張ってください。東根市などは現に微増していますので。東北で一番暮らしやすい街を目指して欲しいです。
13. 経済的支援が1番の近道だと思います。
14. 若い夫婦が住みたくなるような学校環境や生活保障ができて欲しいと思います。
15. 市の人口減少で子供の数も年々減っていることがとても気がかり。解消するためにも、上山市に定住してもらおう若者、住みたいと思ってもらえるような街づくりも併せてしていかなければいけない。なぜ上山は街づくり(便利な場所が住む場所ではなく田んぼ、道端が狭くて家を建てられないエリアが多い、道路の整備など)が下手なのか。これからはいかに市民数維持していくか、ここに定住しようと思ってもらえるかが課題だと思う。
16. 子どもを持ちたい世代が住みたいと思わせてくれる政策が最優先。
17. いくら小中で素晴らしい教育を受けられるとしても、バス等の公共交通機関がなく高校生になると通学方法が限られて大変である。(冬の朝の7時台の上山駅は送迎の車でいっぱい。家族の負担が大きい。)

タクシーも7時からの営業で電車時間に間に合わない。) 上山はとても住みにくいとを感じる。

18. 他の市町村で対応している、子育て支援に力を入れてほしい。給食費無償化などにより、上山の人口数は必ず変わると思う。
19. PTAの廃止希望。
20. 給食費無料、PTA会費を安くする、入学時のお金の支援を全員にしてほしい。他市町村でしていることをしてない時点で少子化対策にやる気がないように思える。目先のメリットでもやらないよりやったほうがいい。支援してない市町村に移り住みたいと思わない。お金があればもっと子供がほしい。借家でもいいので、学校に近くて手頃なお家が上山にはない。学童も古いし、学校は遠いし、道路も暗いので安心して登下校させられない。
21. 少子化が進み、昔のように友達100人は出来ない悲しい時代になりました。外を出ても友達の家は遠く遊び辛い。南学区ばかりに力を入れて上小学区は寂しい学区になってきています。学校のあり方もですが、それ以前にもっと子育て世帯が住みやすい街にし、補助金や制度も増やして行ってほしいです。
22. 少子化による将来への影響を子供の頃から学習できる機会を作ってはどうか。少子化が社会に与える影響、自分に降りかかるかもしれない問題など社会を変えるには必要と思う。なぜ少子化が問題なのか分からない大人も多い。税金や年金などわかりやすく学習する機会も必要と思う。上山に人口を増やすには思い切った経済支援、土地無料など行わないと難しいのではと感じています。
23. 給食費無料など子供を育てる人へ明らかなメリットを出さないと10年後には子供がいなくなってしまう学校どころか上山市がなくなってしまうと思います。今支援したことが10年後の上山市に繋がるのでお願いしたいです。
24. 学校の在り方の前に上山市は人口減少対策をした方が良い。
25. 学校のあり方も大事ですけど、その学校に入る子どもがいなければ意味ありません。子どもを増やしたくなるような環境やそれに伴った子育て制度の充実化。そちらを優先して取り組むべきだと思います。出世数は毎年、過去最少を更新しています。
26. 学童や塾などの場所として校舎を提供してほしいと思います。責任管理運営は別組織で空いてる教室など提供くだされば 児童が外を移動せず利用でき 学童に入れるか何処になるかの心配が減ります セキュリティや光熱費など問題は多いと思いますが…